

 DL-Raw.Net

幸乃助さま……

すまない……
晴美さん……

君がそんなにも
僕を想って
くれていたなんて
知らなかった

第二十八話 殺せるか







沙夜(さよ)!!

待ってくれ沙夜!!

どこに行くんだ!!




・・・・!!
その血は・・・・!?


大丈夫なのか!? 怪我はっ・・・・・
沙夜!!


ザッ


・・・返り血だ 全てな
・・・・見ろ


……!!
君が……?


ああ
多少……手こずったがな


ぐふっ……
死…神……
殺せっ……
くそったれ
……


幸乃助
華族を捨てた
お前に
何がある?


!


私は刀を捨てた
はずが……
刀に
救われた


ブオン


ザザ
ニュッ

うっ……!!

幸乃助さまっ……!!
!

幸乃助

ここにいる刺客は
その女が仕向けたものだ


今ここで
その女を殺せるか……？


!!


…そんな……
ドクン


やらねばまた狙われるかもしれない
……さあどうした！


殺るんだ!!
!! 幸乃助

ドクン
ドクン









幸乃助さまと添い遂げたかった……
それが……叶うだなんて！
晴美を……
お側に置いてください……!!
幸乃助さま……
……すまない……
晴美さん……
ズリ…
すまない……!!
!!
ビクッ
ギリッ…


……あ……
……う……
幸乃……
助…さま……
ブル
ブル…
ジョロロロ…




沙夜のため……
……いや……
二人のためだ!!

わああああああああ

ああああああああ

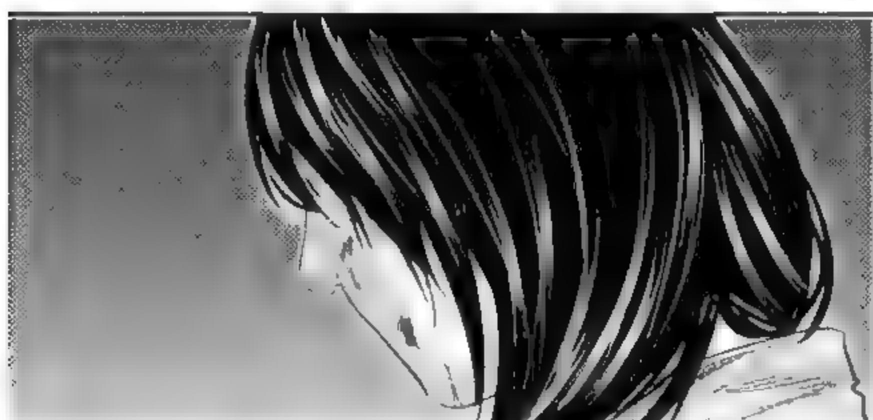



……ダメだ……
できない……!!




……だろうな
……沙夜……!!


待ってくれ……
……僕と……
僕と……
共に……




……お前は甘く
……弱すぎる
お前とでは
……

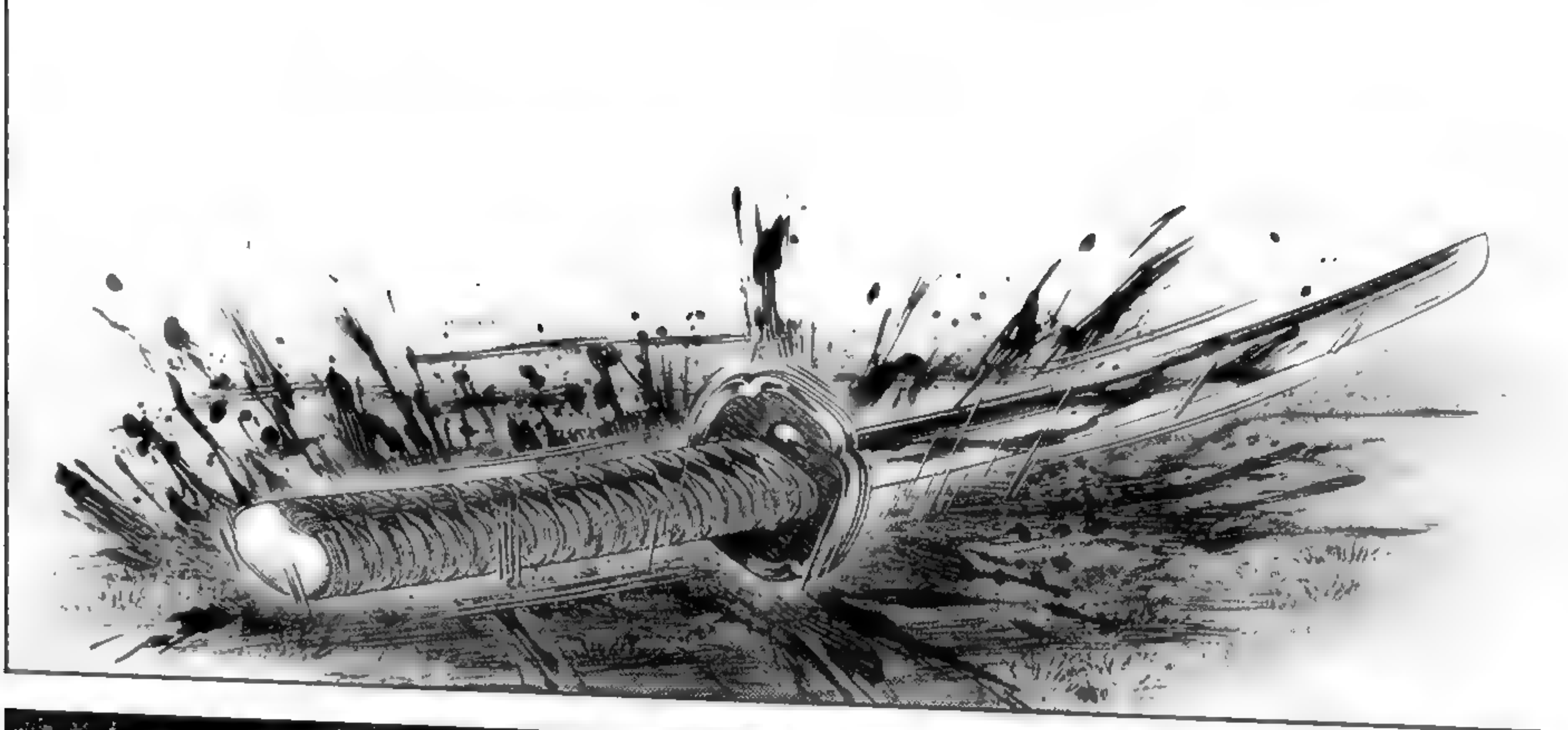


明治の世は

生き残れない








……!!
幸乃助さま
!!
ドッ


……
うっ……
わぁあっ
……!!


幸乃助さま
っ……!!
僕には——



何もない
華族を捨て
一人の男となった瞬間

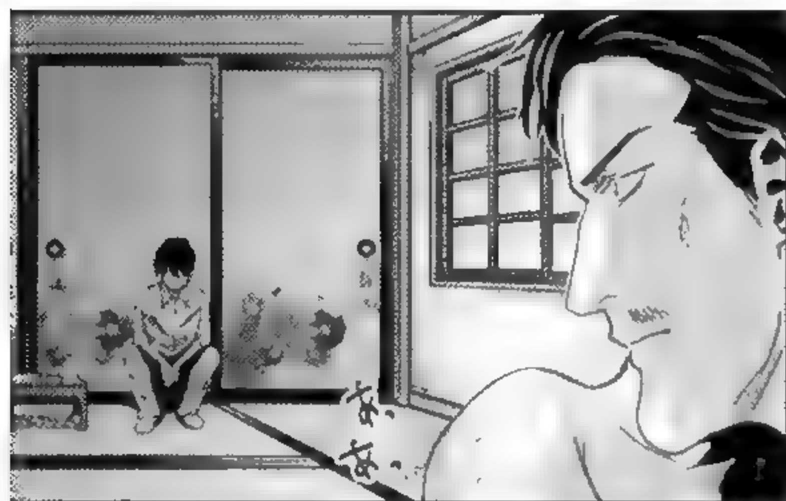
愛する女一人
守る力も
持っていない

第二十八話 終


第二十九話
達臣とはる


そうれ「曲茶臼」だ!!
あっ‥ああっ‥‥腰が止まらんすえ!!
もっと激しく弾いてみろ!!
ズプッ
ズプッ
ズブッ


達臣さま!!もう堪忍‥!!
何言ってやがる今夜は寝かさんぞ!!
ズプッ
ズプッ
ズチュ






おい

ぼいん

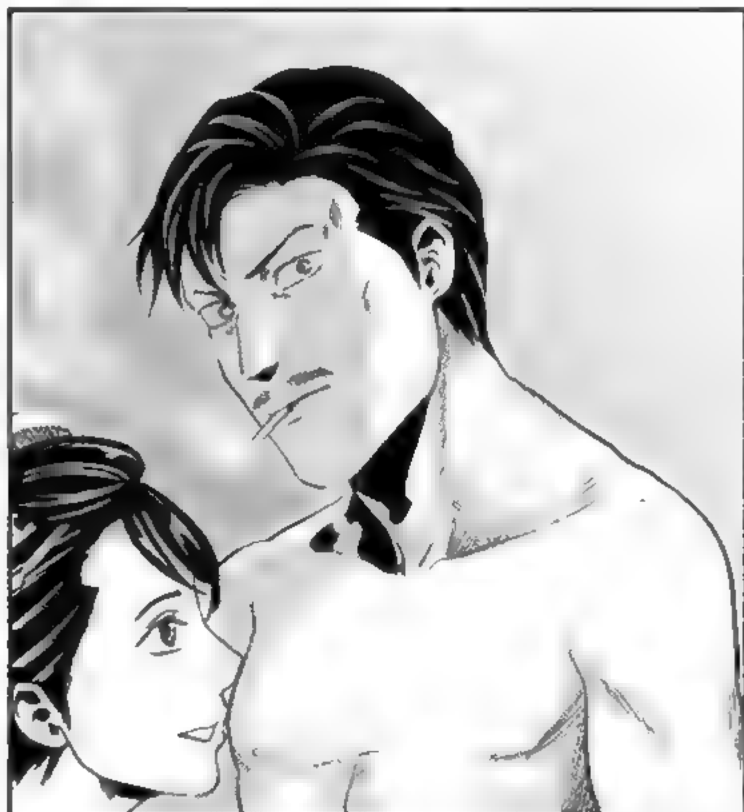



…兄さん……
どうして……


いや お前が駆け落ちしたと聞いた時は驚いたぜ
「ついにやりやがった!!」ってな…
そりゃ様子を見たくもなるだろ?


お前ならあの小屋しかないと 行ってみたら……
この世の地獄みたいな顔したお前と晴美さんがいたわけだ
何があったか知らんが…
ま 想像はつくがな
しばらく吉原で遊んでったらどうだ?
兄さん


……沙夜に
晴美さんを殺せと言われた




……できなかった……
それで沙夜は……


愛想をつかされたわけか……なるほどね
幸乃助


!

俺なら殺(や)ったぞ










……っはあ!!
パッ

……人生で一人だけ
本気になった女がいた
ヨシヨシ
すまんな

……!!
もう何年も前の話だ
吉原の遊女でな
田舎から出てきたはるという女だった


達臣さん
また来てくれたんですの
はる


お前の顔を見ると落ち着くんでな
また朝まで飲み明かそうぜ


今読み書きを勉強してるんです
へぇ
達臣さんにお手紙を書けるように！

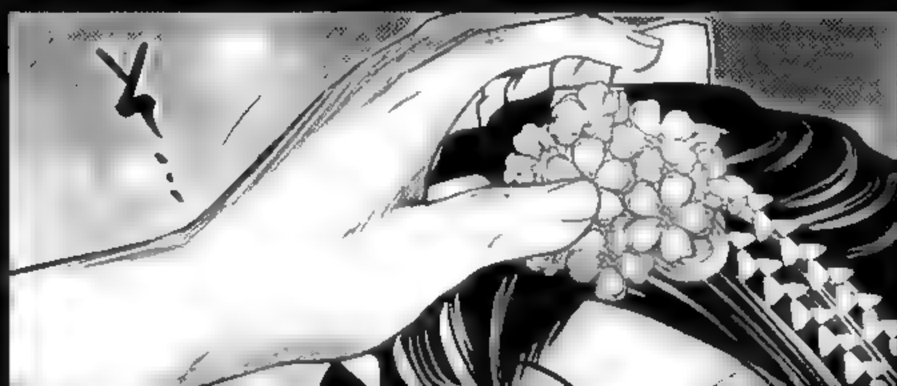

学はねえが純朴(じゅんぼく)ないい女だった
はるといるのが俺が唯一気の休まる時だったんだ




達臣さん……
酔うとるの？


……いや……本気だ
俺の嫁になれよ


うちは…なんもできん田舎娘よ？
ああ知ってるよ
花魁の姉さんいっぱいおるのにどうして……




俺は
お前に惚れたんだ




だが……
そんな事
許されるわけもなかったんだ


たわけ!!


妾の子の分際で遊女を娶るだと?
馬鹿も大概にしろ
お前の結婚相手は愛州家が決めるのだ


親父!


今この場で決めろ
華族でいるか女郎(じょろう)といるか!!




ザァァァァ




ピシャ…
達臣さん・・・・

ほんまに……
ええんですか
ああ
……俺には
はるが
いればいい
うちといたら……
勘当（かんどう）されてしまうと
違いますか……？
……
うちも……
達臣さんさえ
いれば……
……
んっ……
……はる
愛している



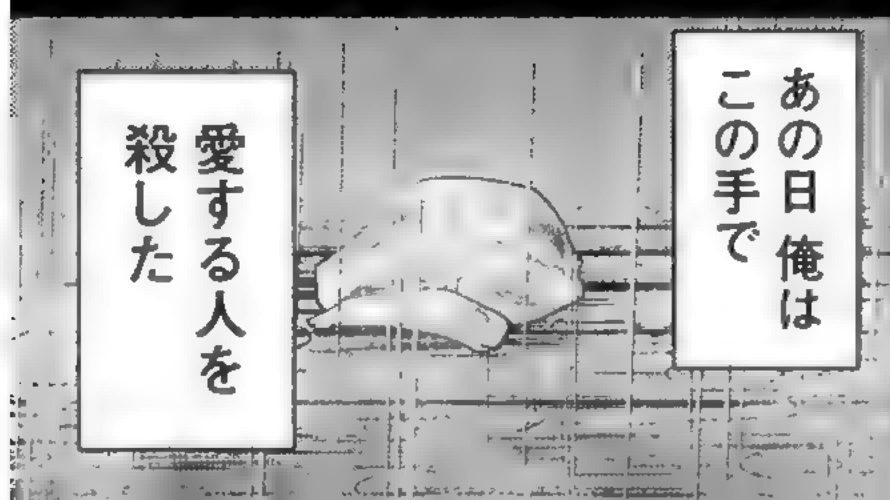



ドボォン


……うっ……っ……
……はるっ……






あの日俺は
この手で
愛する人を
殺した

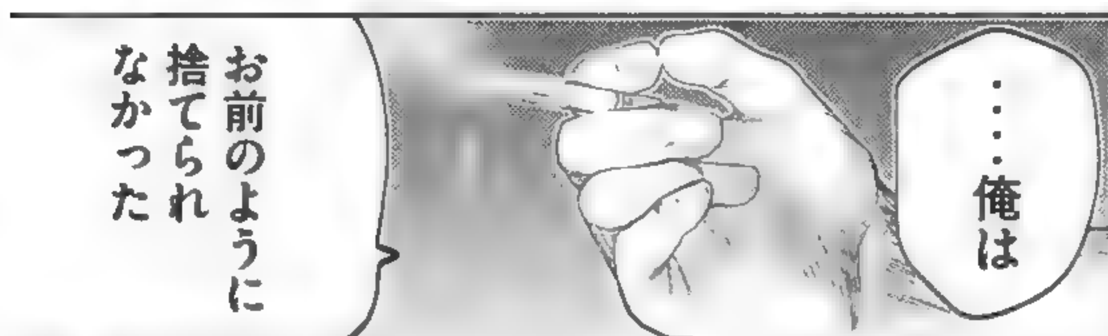

……それ以来
誰も愛していない


……そんな事があったのか……
どうして……そんなに愛していたのにはるを兄さんは……


何も殺す事はなかったんじゃ……
へっ……
もう二度と会わないから勘弁してくれって?
それを信じる親父だと思ってんのか?
……うっ……

華族の体面を守るためなら親父はなんだってやるさ
遊女一人消すくらいわけはない
……ならせめて俺の手で……な





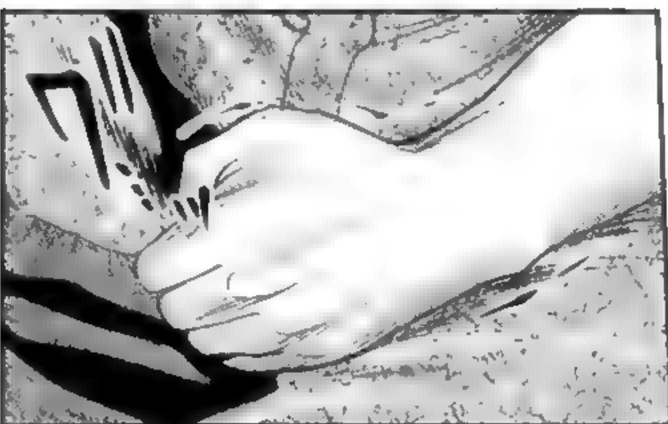







お前を誇りに思うよ
・・・・・・兄としてな


・・兄さん・・・!!




でも・・・・僕だって同じだ・・・・
華族でなくなれば何もない・・・!!


どうすれば・・・・・・

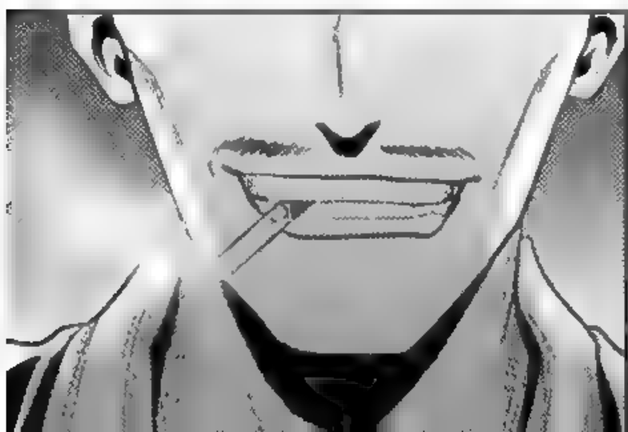

お前は吉原で性を知った
今度は・・・死を知る時かもな


死を・・・・？


人を殺すんだ
その手でな


・・・そんな・・・・
僕には・・・・無理だよ・・・・


いや やるしかない
・・・あそこに行けばな



人を殺さなくては
生きられない
この世で
唯一の場所に
第三十九話 終

人を殺さなくては生きられない場所……!?

い……いったい それは…… そんな所がどこに!?

第三十話 東京最後の夜

…昨年十一月

ズ

政府が民にこんな告諭※を出した

抜粋するとな「国民血税をもって国に服せよ」とのお達しだ

「血税」……なんの事かわかるか? 幸乃助

いや……

※民衆などへ言い聞かせるもの。

「徴兵」だよ

人を殺さなくては生きられない場所とはつまり・・・・戦争だ

!!

巷は大変な騒ぎになってるぜ

「血税」ってのを生き血を抜かれると勘違いして農民が一揆を起こしたり・・・・

兵役逃れの本が大流行したりな

徴兵免役心得

まあそれはともかく・・・・

「死」を知るには
陸軍はうってつけの
所さ
華族を捨てるどころか
命まで捨てるはめに
なるかもしれねえがな

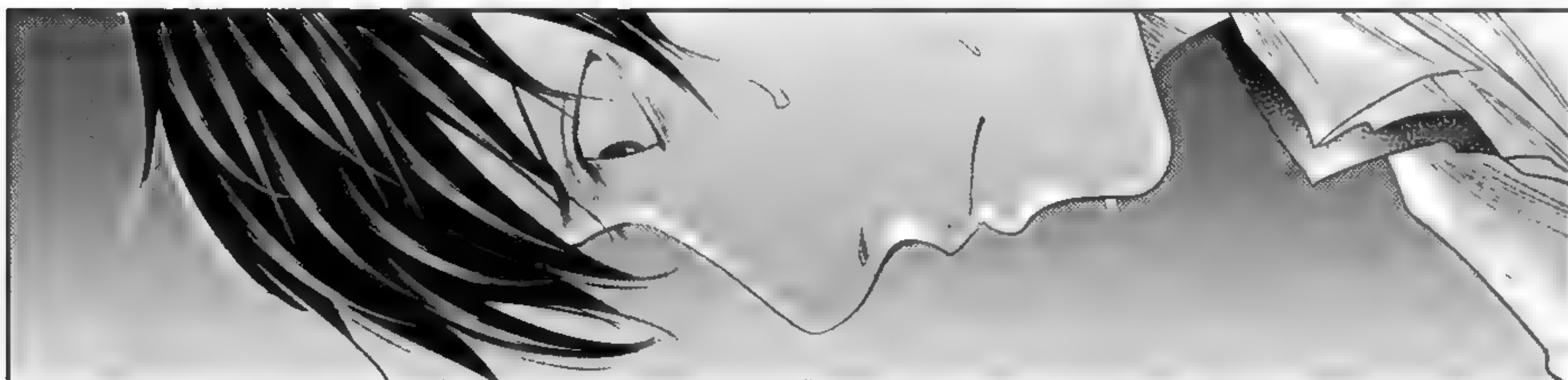






修羅の道を進むか

想い人を忘れ去るか

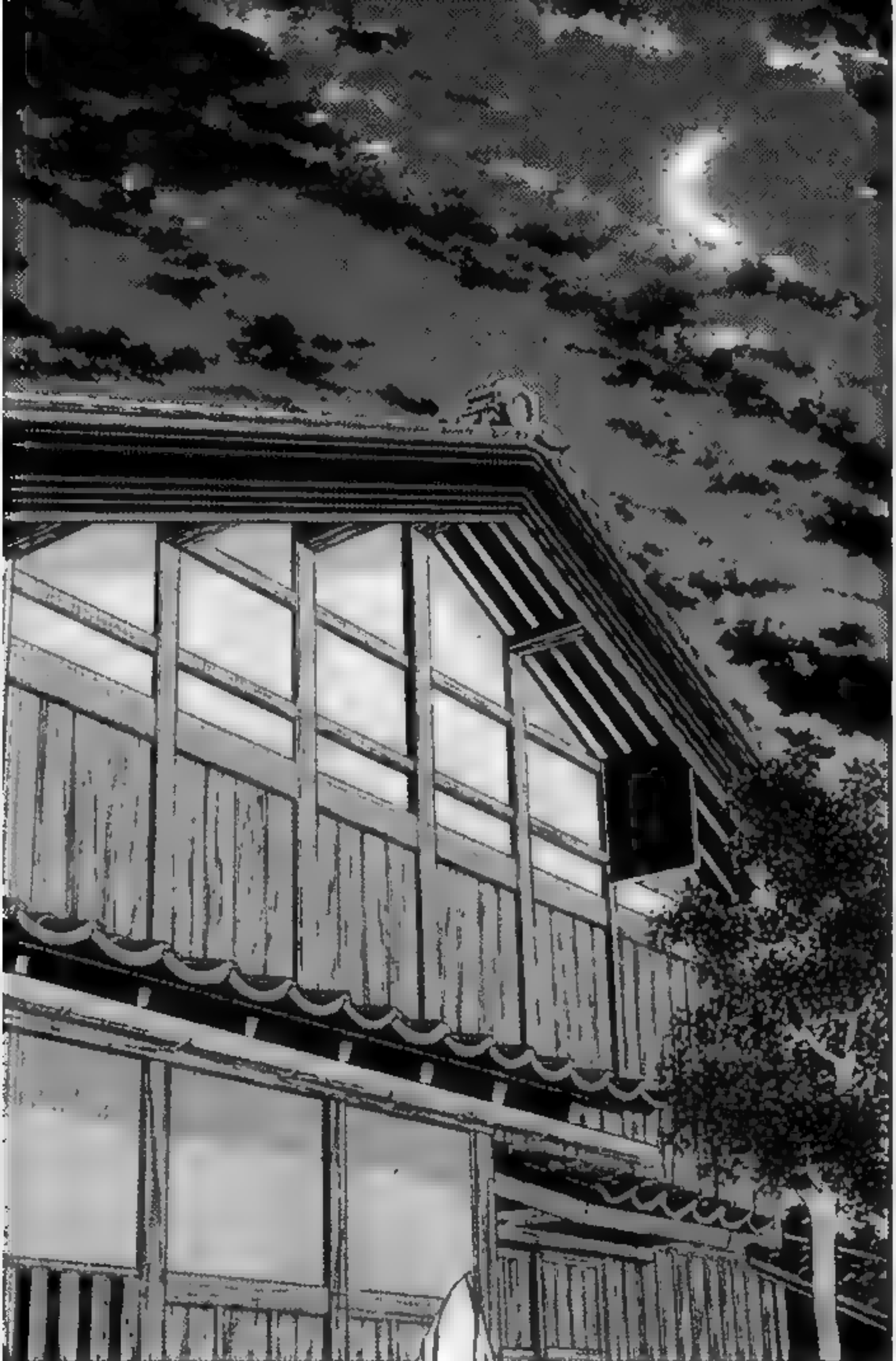






皮肉なもんだな

死地に送り出して礼を言われるとは……

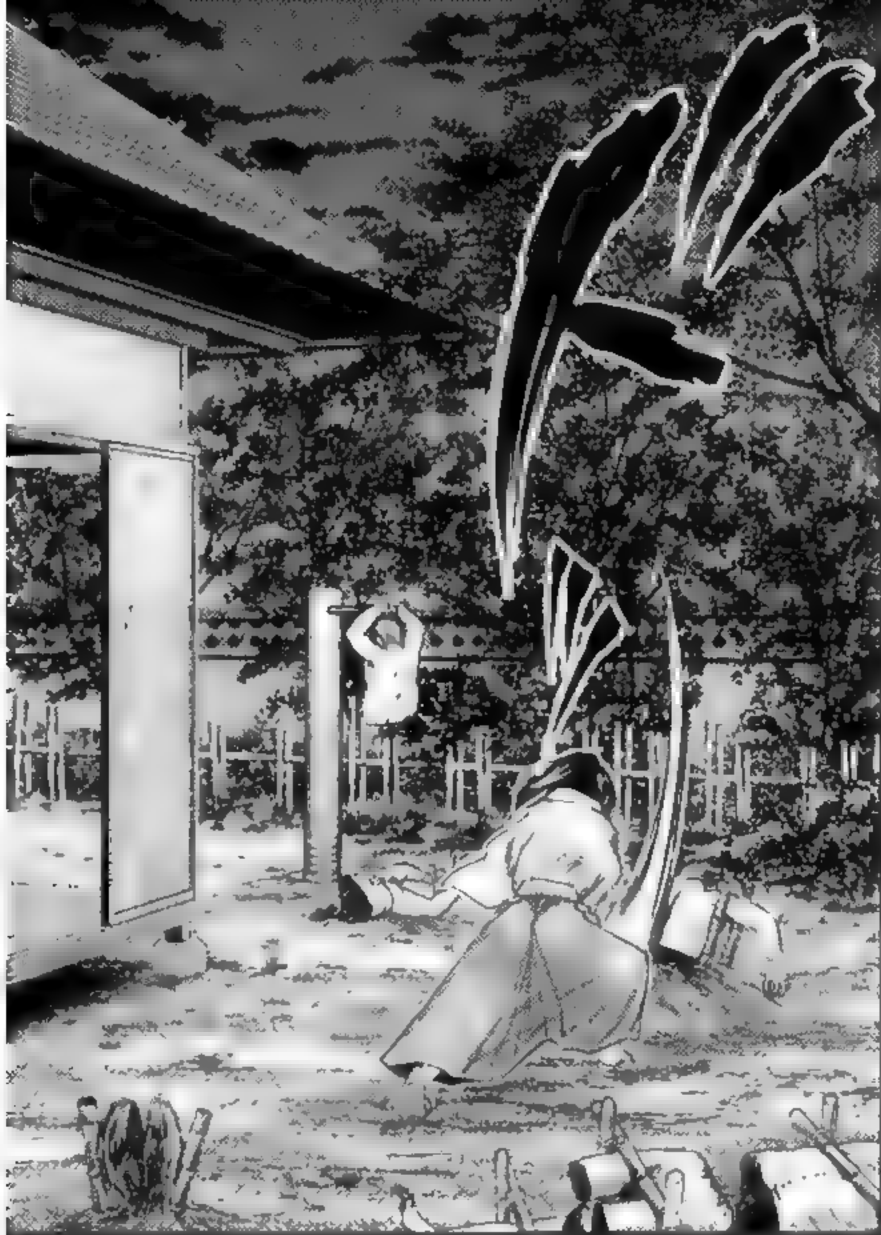







ハァ
ハァ…


駄目だ……
僕には……
できない……

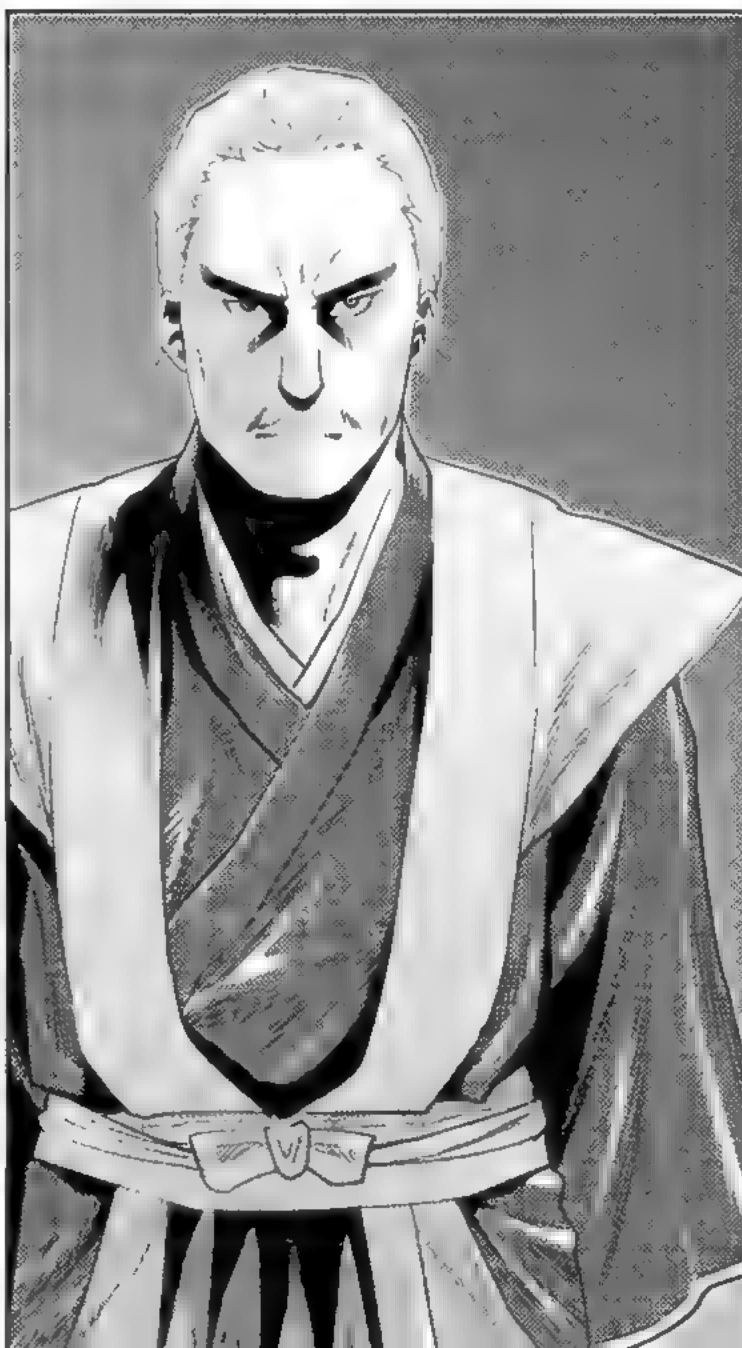


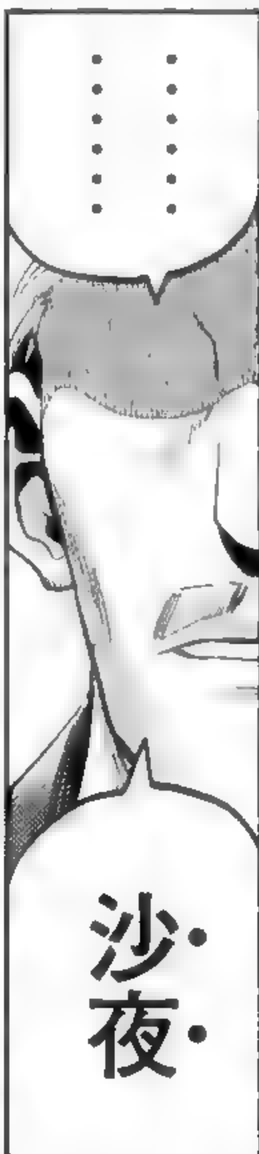

フゥ…
フゥ…


どうされました
当主
こんなに荒れた
様斬りは
初めてだ

……

……なんでもありません









洞門の名を捨て・・・・
己の人生を歩んでも
いいのだ
我が娘よ
・・・・父上
私が八代目当主
として何人 首を
はねたか覚えて
いますか？
・・・・さて・・・・
百人以上は斬った
だろうか・・・・
百八十一人
私ははっきり
覚えています
一人一人
最後の無念の
叫びまでも

この刀を捨てる事は
彼らを捨てるという事です
私はあの日……背負うと決めたのです
この命ある限り無念に散り行くその魂を……!!




……
……わかった……


実は遠方から「私刑」の依頼が来ております
断ろうと思っていましたが…当主が望むのならば

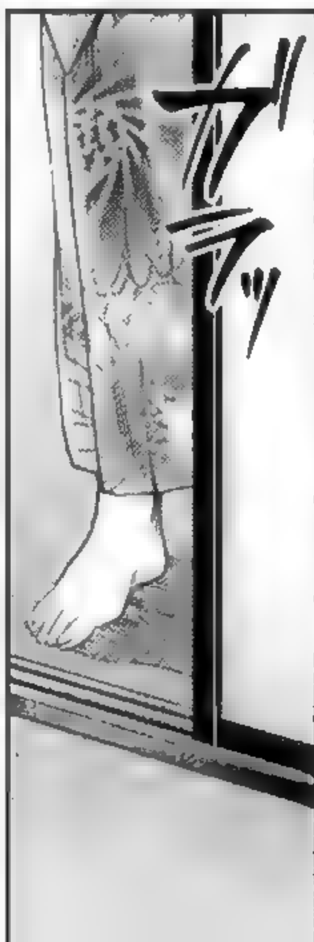

どこへでも行こう


血が喚ぶならば…


一週間後


オオオオ
トン
トン
…




ガラッ


達臣さま!! ご用意できました!!
来たか!!
バァ!!

女体盛りでございます!!

ガッ

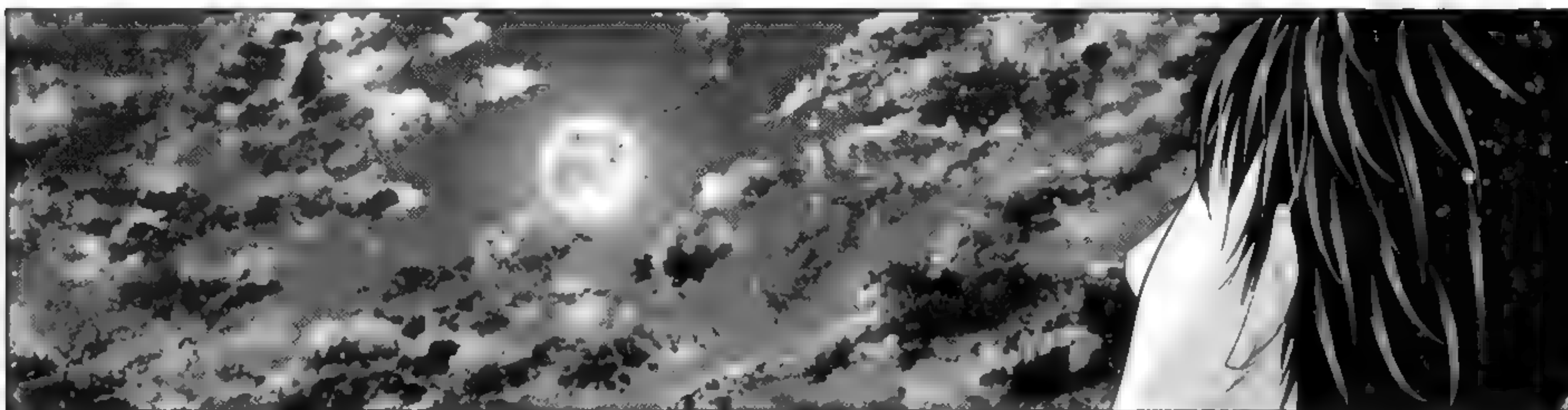
遊女も寿司も極上のものでありんすわ!!












沙夜・・・・
君もこの月を見ているだろうか




よっと

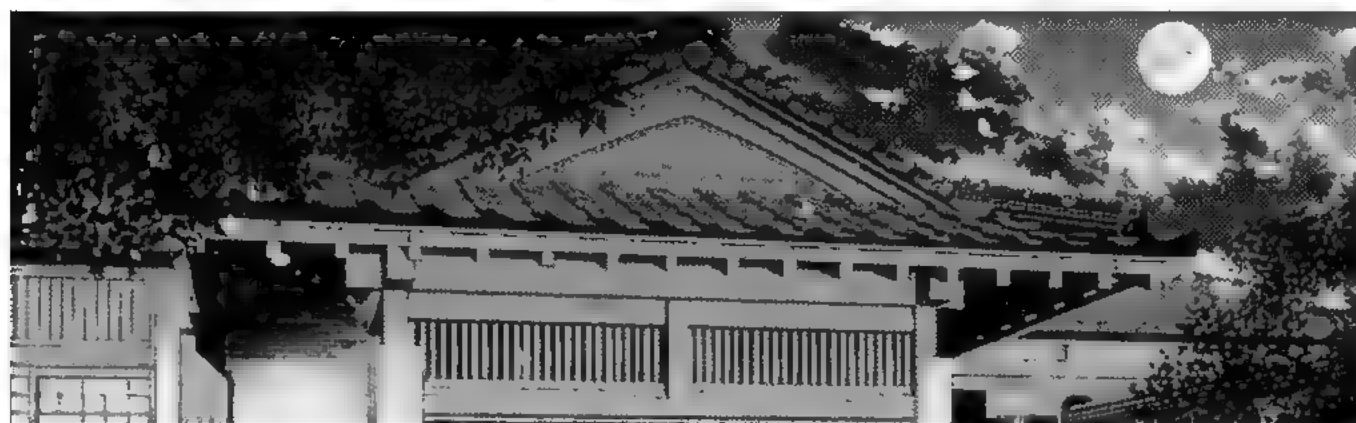
なんだ全く・・・・こんな所にいたのか
兄さん
・・・・まあいい
一杯やれよ
何してんだ?
東京最後の夜だ・・・・
少し・・・・景色を見ておきたくてね
幸乃助
生まれた場所と生きたい場所は違う
人は皆あがきながらそれを探し
見つけられる者もいれば・・・・叶(かな)わぬ者もいる
何が言いてえのか俺にもわからねえが
まあ・・・・とにかく

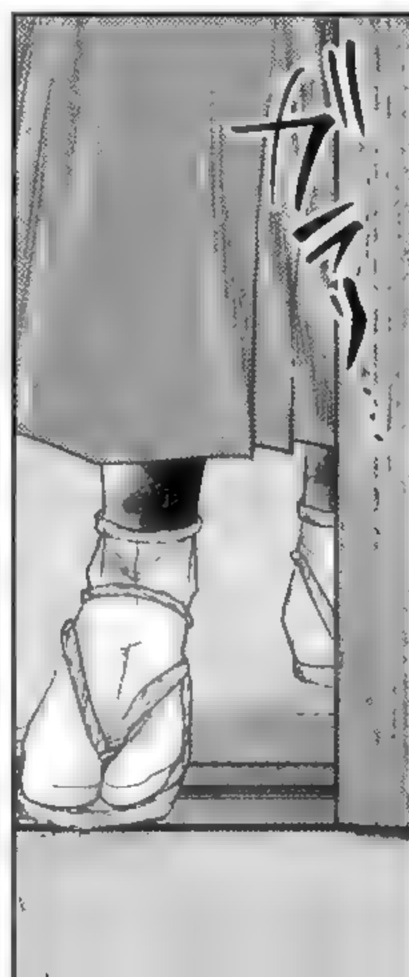


…死ぬなよ


幸乃助


……ああ
ありがとう!






行って参ります
うむ
道中お気をつけて

明治六年

二つの魂が東京を発つ……!!

第三十話 終

首を斬らねば分かるまい



四年後

ゴオ…ッ

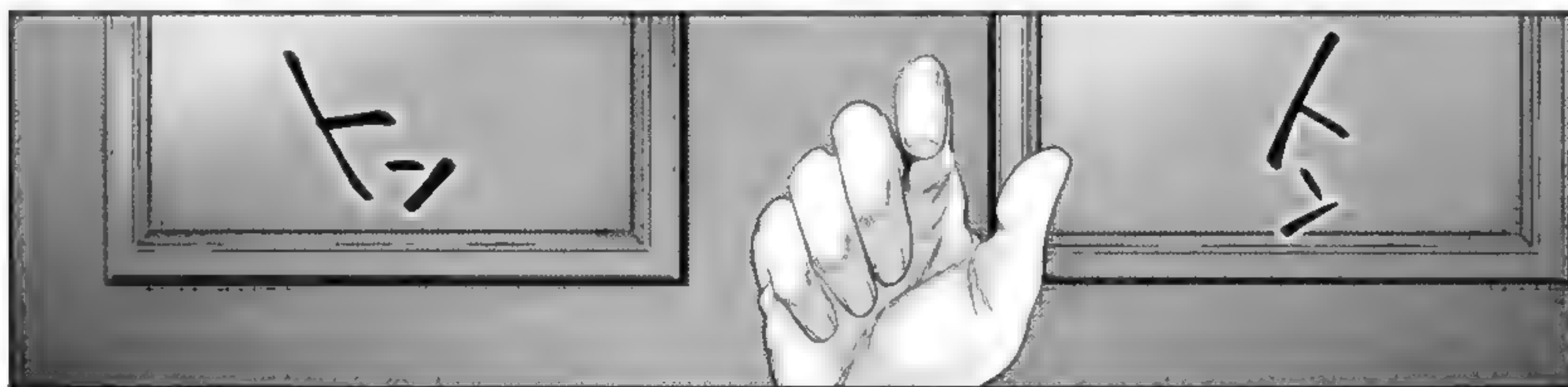
明治十年

第三十一話 熊本鎮台

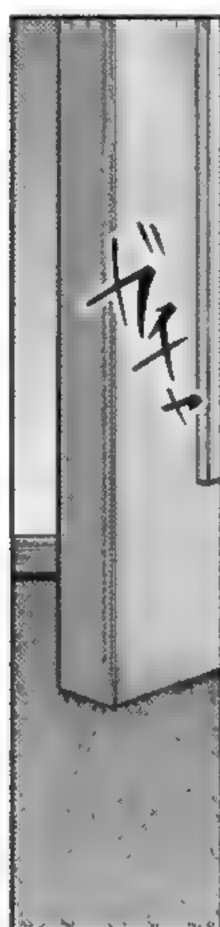





内務卿(ないむきょう)
大久保(おおくぼ) 利通(としみち)


トン
トン


どうぞ


ガチャ


頭を悩ませて
らっしゃる
ようですな
内務卿


陸軍卿
山縣 有朋


おっと気をつけて!!
あたっ!!
いやはや背が高すぎるのも考えものだ


目下の懸念はやはり……
鹿児島ですかな


……ええ
もはや士族たちの説得は難しい……


明治十年
日本は荒れていた

新政府により
あらゆる特権を
奪われた
旧武士階級「士族」が

各地で怒りを暴発させ
武装蜂起を
くり返していたのだ



四民平等で
身分を奪われ
……

廃刀令で
命である刀も
奪われた

ま 怒るのも
当然でしょうな

国家のためです
旧体制の改革
なくしては
近代化はありえない

もちろん
です
内務卿

では……
いかが
するか

内乱鎮圧のため各地に
配置された「鎮台」への
襲撃が続いている

さらなる兵を
派遣いたすか




刺激するのは望むところではありません・・・ですが
万一のために鹿児島にある政府管轄の火薬を大阪に移しましょう
陸軍弾薬庫の？何故か


念のためです
鹿児島には・・・・要注意の人物がいる


・・・なるほど
御意に
それと警察と連携して密偵を送りこみましょう
あくまで極秘に・・・刺激せぬよう頼みます
仰せのままに

熊本第六鎮台
兵舎







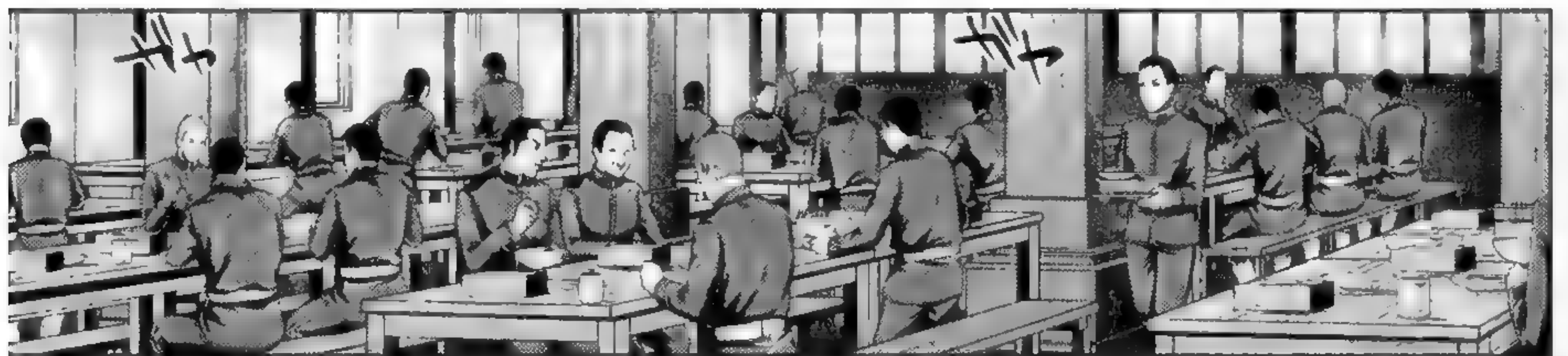


これしきの訓練で何をへばっておるか腰抜けが!!

うっ……

士族どもに立ち向かえんぞ!!

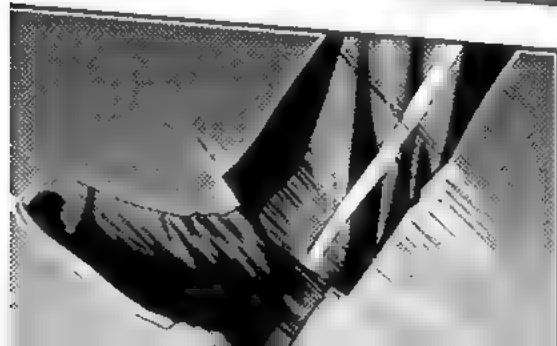
谷干城（たにたてき）
熊本鎮台司令長官



※メンコという箱型食器に盛られていた米。








カ
ッ
!!


ガチャン
ガラン…
う……
ドシャア


おお 悪い悪い
陰気野郎が
歩いてっから幽霊かと
思ったぜ!!
ハハハ…!!
てめーの顔 見てると
メシが不味くなるん
だよ!!




うえ……
こいつ拾って
食ってるぜ
本当 気持ち
悪い野郎だな
おい

いい加減にしろ
お前ら

食い物粗末(そまつ)にしやがって

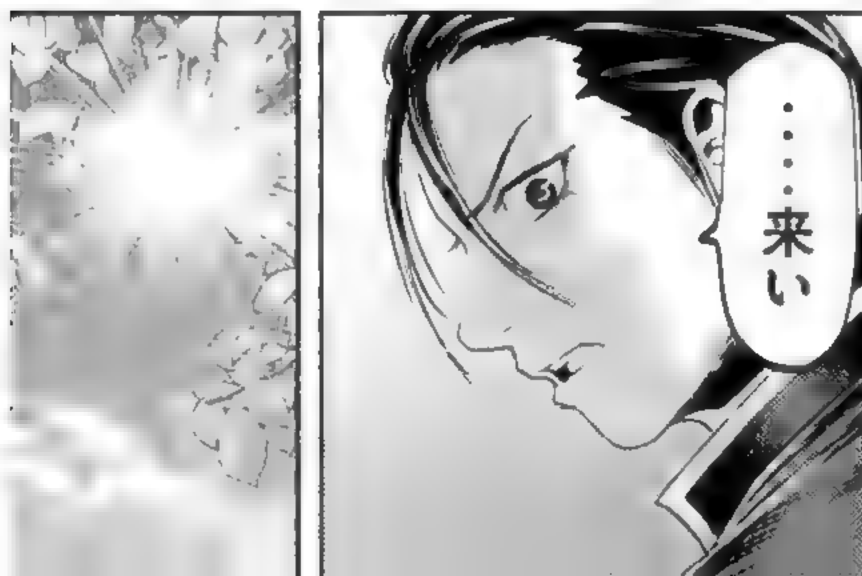
新兵
青山(あおやま) 一(はじめ)



※現代の空手。








なっ……


ぐはっ!!
ドシャ


……俺は
お前が嫌いだ


愛想がなかろうが陰気だろうがお前の勝手だ
だが てめえはナメられっぱなしで言い返しもしない


その根性が気に食わねえ
俺が鍛えてやるかかってこい!!


かはっ……!!




どうした
なんとか言ってみろよ

元華族

愛州(あいす)幸乃助(ゆきのすけ)

……!!

……なぜそれを……

……フン
噂(うわさ)には聞いてたさ


元 華族が
身分を隠して入隊
してるってな
それも
自分から
志願してだ
道楽に飽きて
軍隊ごっこ
でもしてえのか?
いい気なもんだ


俺の家は おっ母が
病気で死んで
親父は酒浸り
徴兵されるまで
まともに
飯も食えない生活
だった


ズ
つ・・・・




だからムカ
つくんだよ!!
お前みたいな
金持ちが遊びで
入隊してんのがな!!


…じゃない…

遊びじゃないっ……!!

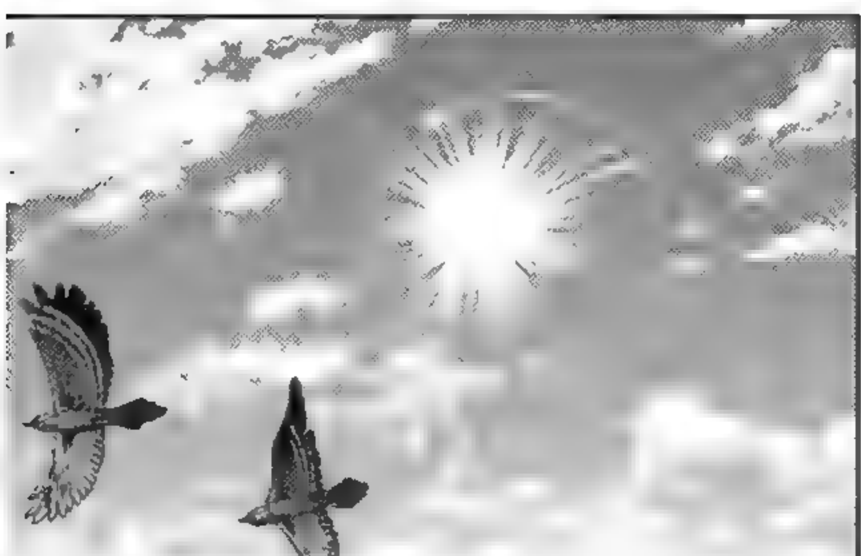
僕はっ……強くなるんだ!!










兄さん——

陸軍に入隊して
四年——

こんなにも厳しい
世界に生きるのは
初めてだよ

ヨロ…

う……

ガク

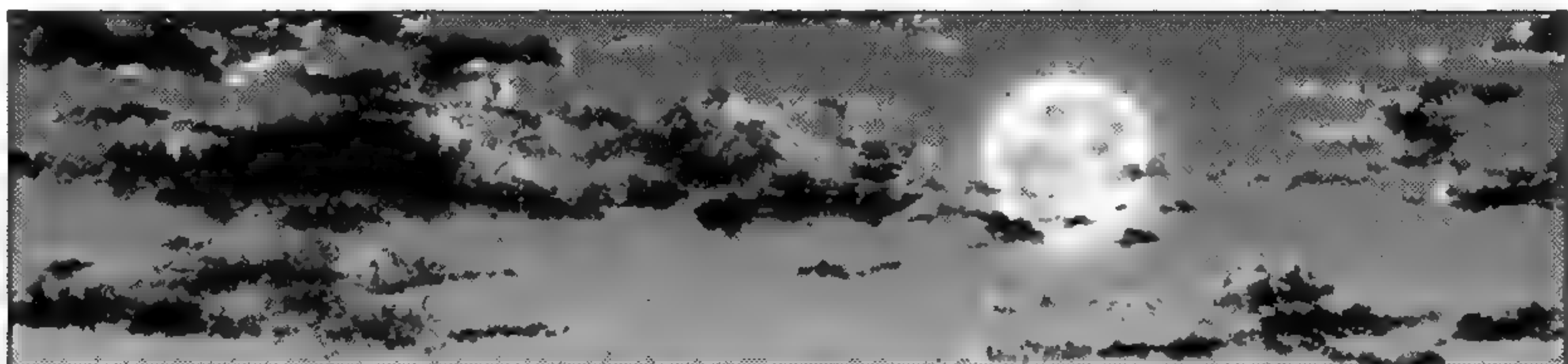
ガク…







かつての高貴さなど
微塵も感じられぬ
文字通り泥水を
すする毎日――



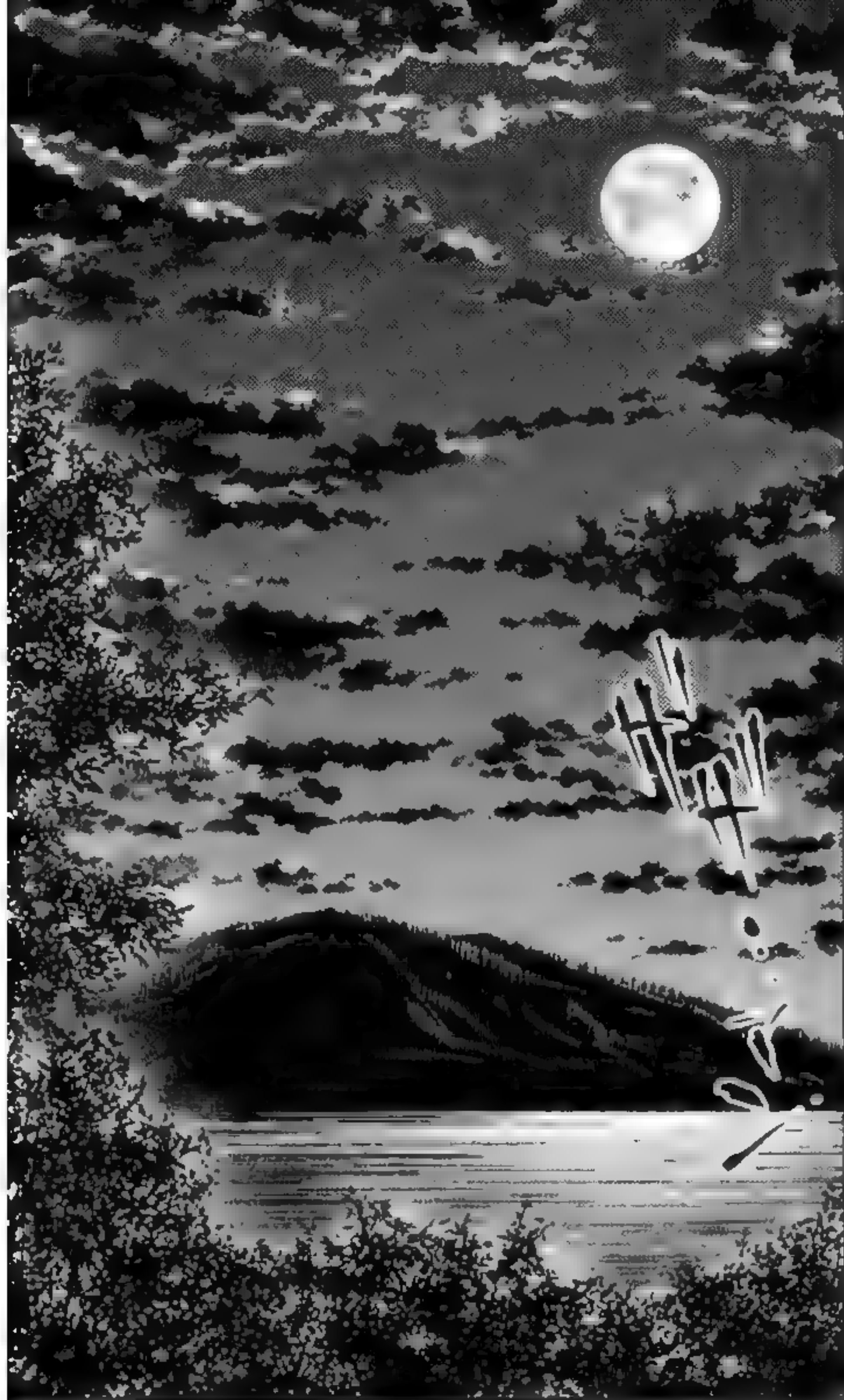







幸せだ


一歩ずつ洞門沙夜に
近づいている
そんな気がして
やまないから——






おおお……
始まる……
始まるぞ!!

いやあああ!!
助けてえ!!

頼むっ・・頼む!!
妻と子供だけは……

わああああああああ!!

今夜……
復活する……

あまりに酷いと
江戸の頃に
廃止された
あの刑が……

死神の手で・・!!

第三十一話 終


第三十二話 鹿児島の死神


ガタ
ひっ…… ひいいいいい!!
やめてくれぇ!!
ガタ


斬れ!!
死神!!
斬れ!!


スゥ

明治十年
鹿児島




ぎゃあああ!!
ブシュウウ


おほっ…おほ!!
たまらん……!!
もっと聞かせろ!!
はぁ
はぁ…
脚じゃ!!
脚を斬れ!!
シュッ
シュッ


うあああああ!!
ザザ


シュッ
むふうう…!!
シュッ
次は子供じゃ!!


うっ…ぐっ…
ひぐっ……

斬首刑廃止が進む中
洞門沙夜が
暗躍する場は

わぁあ———っ!!

「私刑」だった

元大名や楼主など
権力者による
個人的かつ残忍な
刑である

一六一三年——

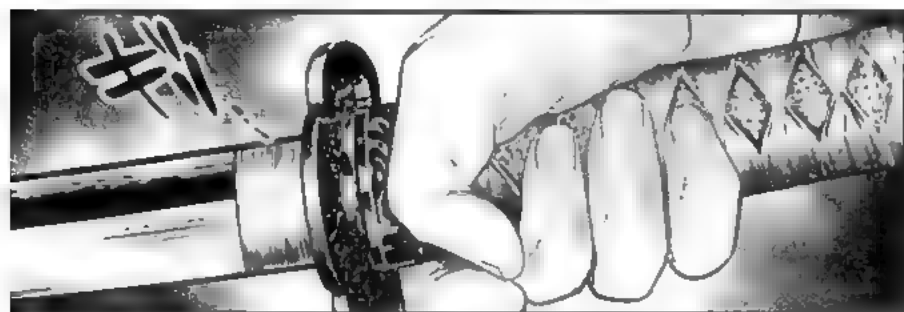
キリスト教弾圧を
決めた徳川家康に
捕らえられた
トマス喜右衛門という
日本人教徒

奴が処されたのが
この「試し切り」の
刑だ

生きたまま体を
寸刻みにして なぶり殺す・・・!!
わしはこの目で
見たかったんだ!!


おい ところで
あの家族は一体
何をしたんだ？
ヒソ
ヒソ
さあな
知りたくもねえ
殿の嗜虐趣味は
今に始まった事
じゃない‥だろ？

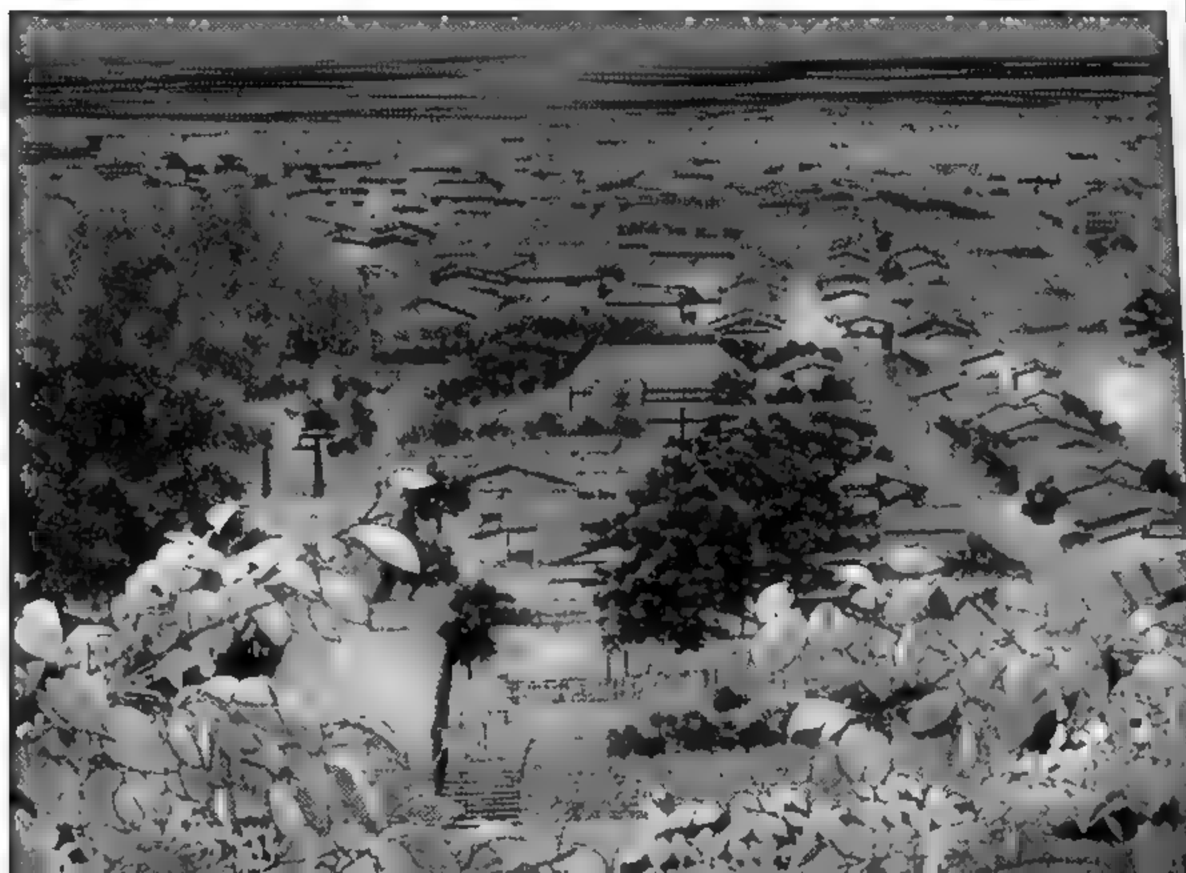

ちぇ‥‥
勘太!!
生きとお
か!?
ぉ
ぉ
ピク
あな‥‥
た‥‥
お許しを‥‥
お許しを!!
おっ父‥‥
ぉ
ぉ
ぉ
ピク

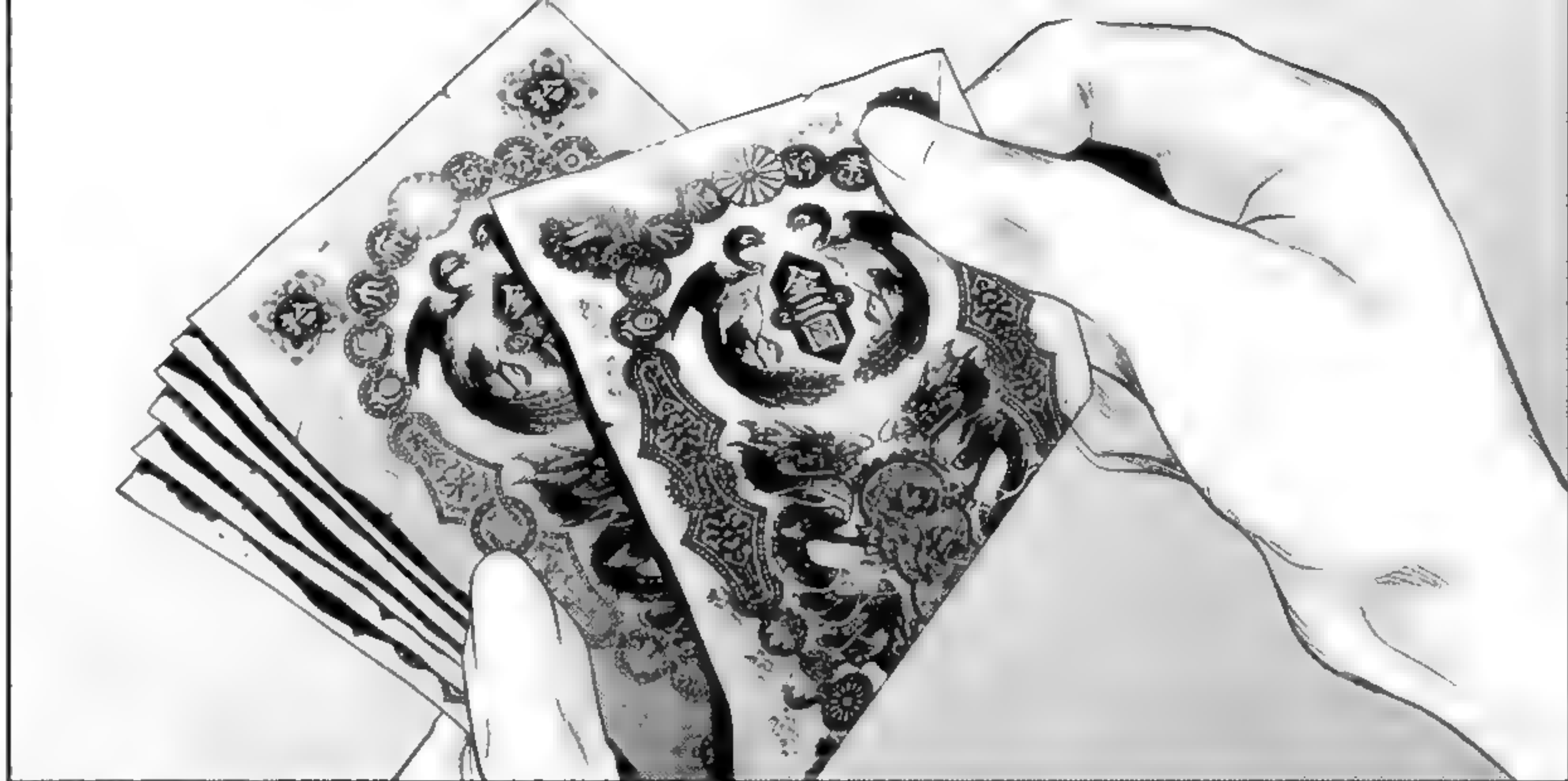

ギッ













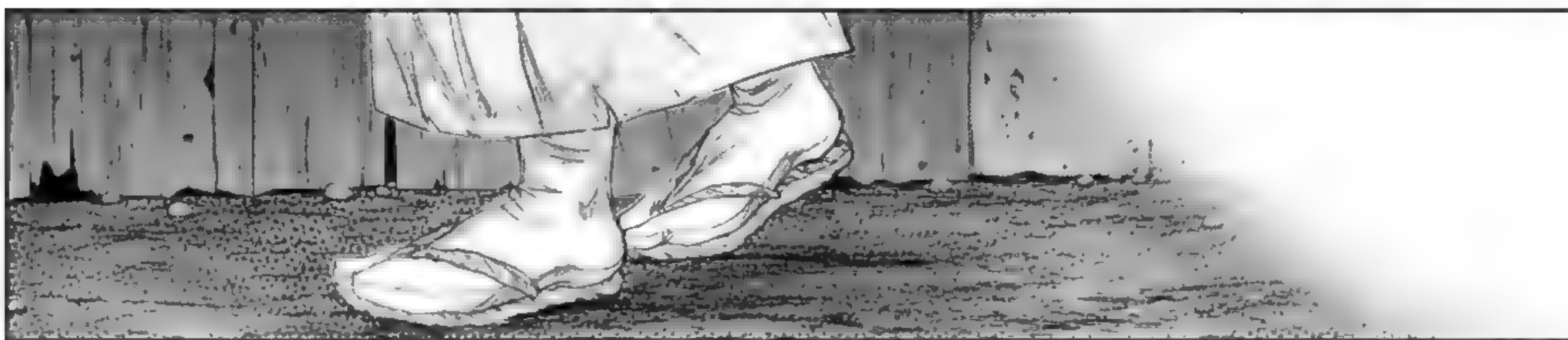

おい 見ろよ!! あれが噂の死神だ!!
ああ おっかない!! 鹿児島中を斬り歩いてるんだって?


旅籠
寺本屋

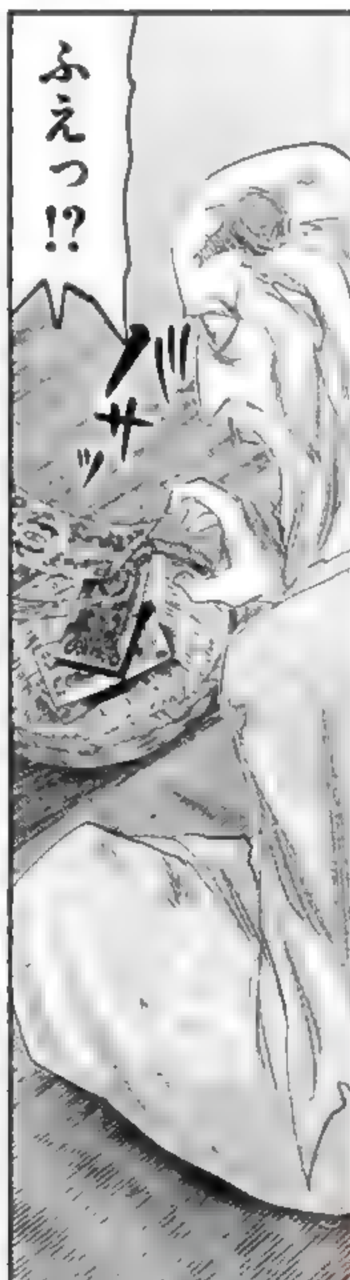

ガラ・・


すまない ひと晩・・・・
ひいっ!!

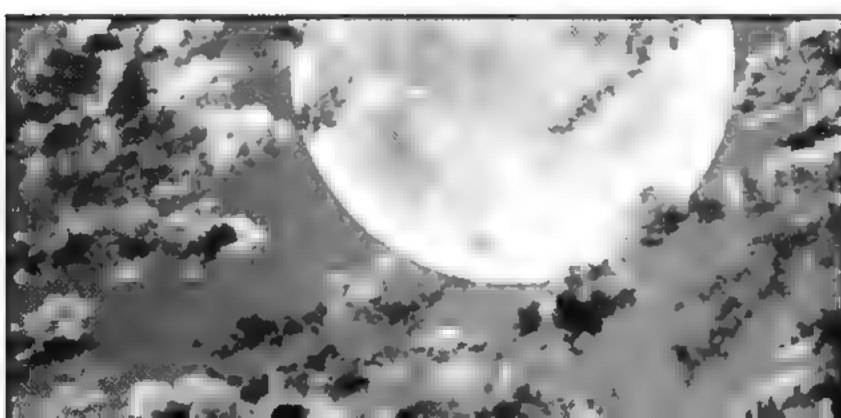

死神なんざ泊めたら客が逃げちまうよ!!
ピシャッ
他の宿をあたっとくれ!!



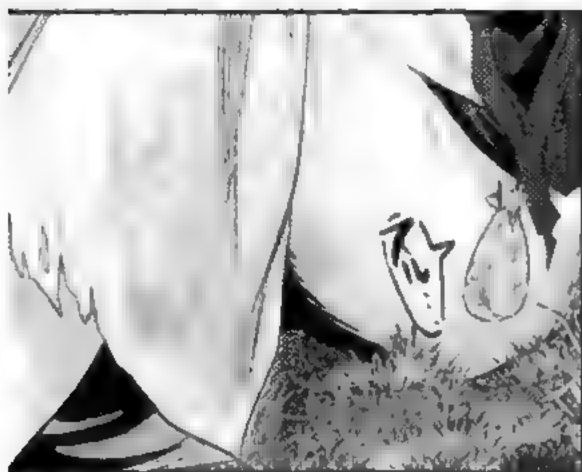

恵んどくれ……一銭でもいいからよ……
ガタ
ガタ
血も涙もないのか……!?


ふえっ!?
ドサッ


なっ…なな……何円あるんじゃこりゃ!?
お……おいあんた!!神様かい!!





フッ…











……馬鹿だな……
私は……



いつまでこんなものを持っている
いつまであの男を……





むう……!?


死角からの一太刀にこの反応……!!
本物よ!!


捜したぞ
首斬り家
洞門沙夜
桐野 利秋
(中村 半次郎)


・・・・何者だ


うむむ・・・・
斬りたい
斬りたい・・・・!!
手合わせしとうて
たまらんが・・・・
こらえろ!!


先生!!
先生!!






・・・・!!
お前は・・・・





やっと会えたのう

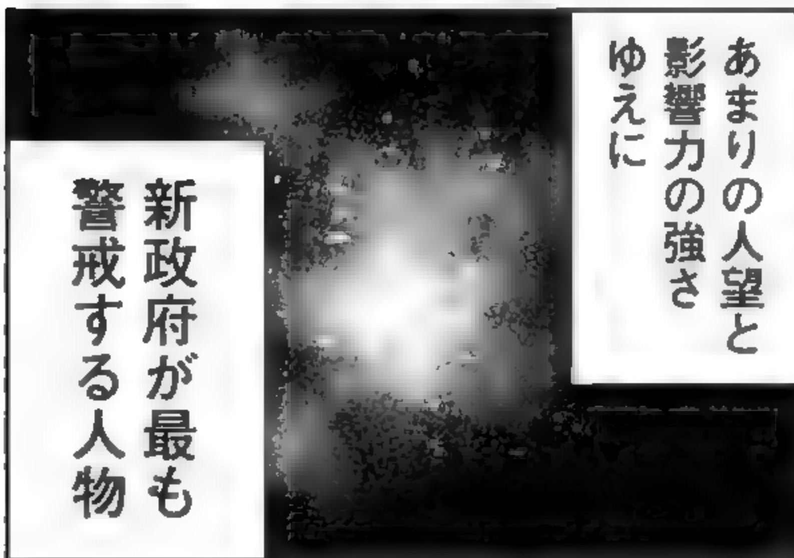
洞門沙夜


この巨体……!!
この威厳……
間違いない……!!

※明治六年政変。


明治六年
※一人の男が六百人の官僚を連れて政府を去った


士族たちから圧倒的支持を得るその男は
故郷 鹿児島に王国を築いた


あまりの人望と影響力の強さゆえに
新政府が最も警戒する人物


貴様が……

西郷か

西郷 隆盛
（吉之助）



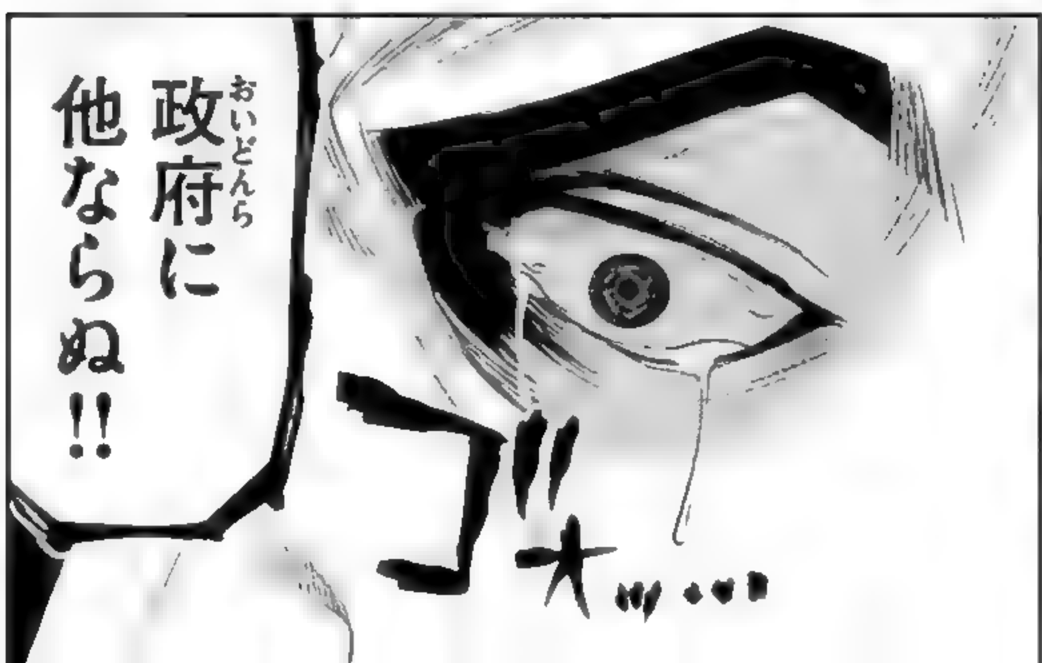



ぶわっ


涙・・・・?
すまぬ!!


国のために罪人を処刑し続けた功労者に・・・・
おいどんらは何もしてやれんかった
ドッ


お前の剣の行き場を奪い
こんな所で野宿せねばならんようにしたのは・・・・


政府(おいどんら)に他ならぬ!!
ゴォッ…


ガバッ
ミシッ
!!


なっ……!?


おいどんと来い洞門!!
もう一人にはさせん!!


つ……
……


ううっ…我らのために泣いてくれるのは西郷先生だけだ
一生ついていきます!!


刀を握らねば生きれぬ者がおいどんのもとにはたくさんいる
そいつらを……鍛えてくれんか


鍛える?
何故だ

もうすぐ……
戦争が始まる
共に闘ってくれんか……洞門沙夜
この国の未来のために!!
第三十三話 終

熊本城

第三十三話「夜の訓練」







幸乃助くん






谷干城司令長官は厳しいでしょう
ハハハ・・・
ええ・・・毎日しごかれております
倒幕にも尽力した武人です・・・頼りになりますよ


しかし・・・なぜ・・・
華族の君がわざわざ志願して陸軍に?
ある人に・・・近づくためです
僕はもう六年間その人を想い続けている

この命を捧げても
いっしょに
なりたい

そのためには……
軍しかないと
思ったんです

……実は……

今日来たのは
訳があります

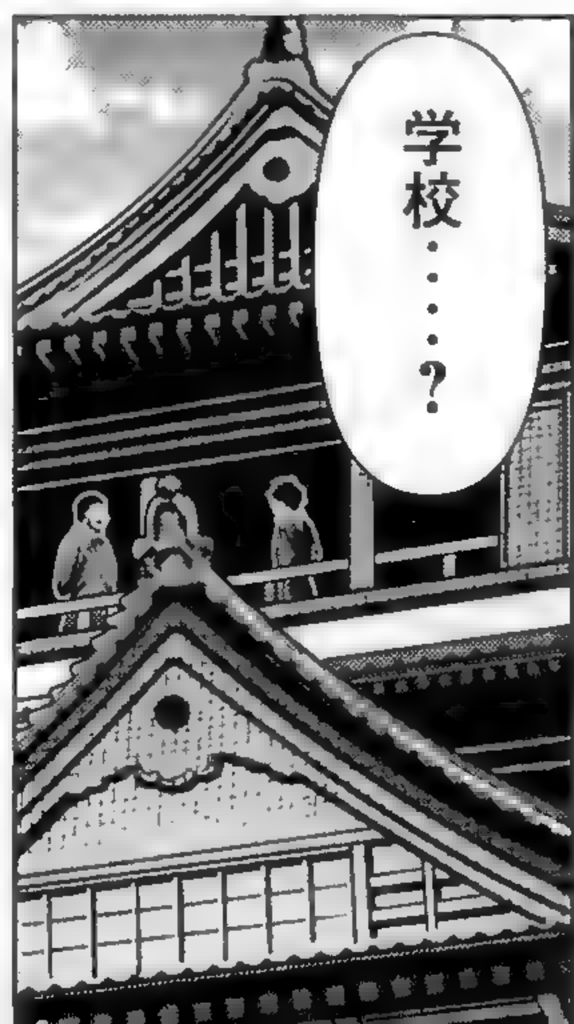
鹿児島に……
ある男がいます

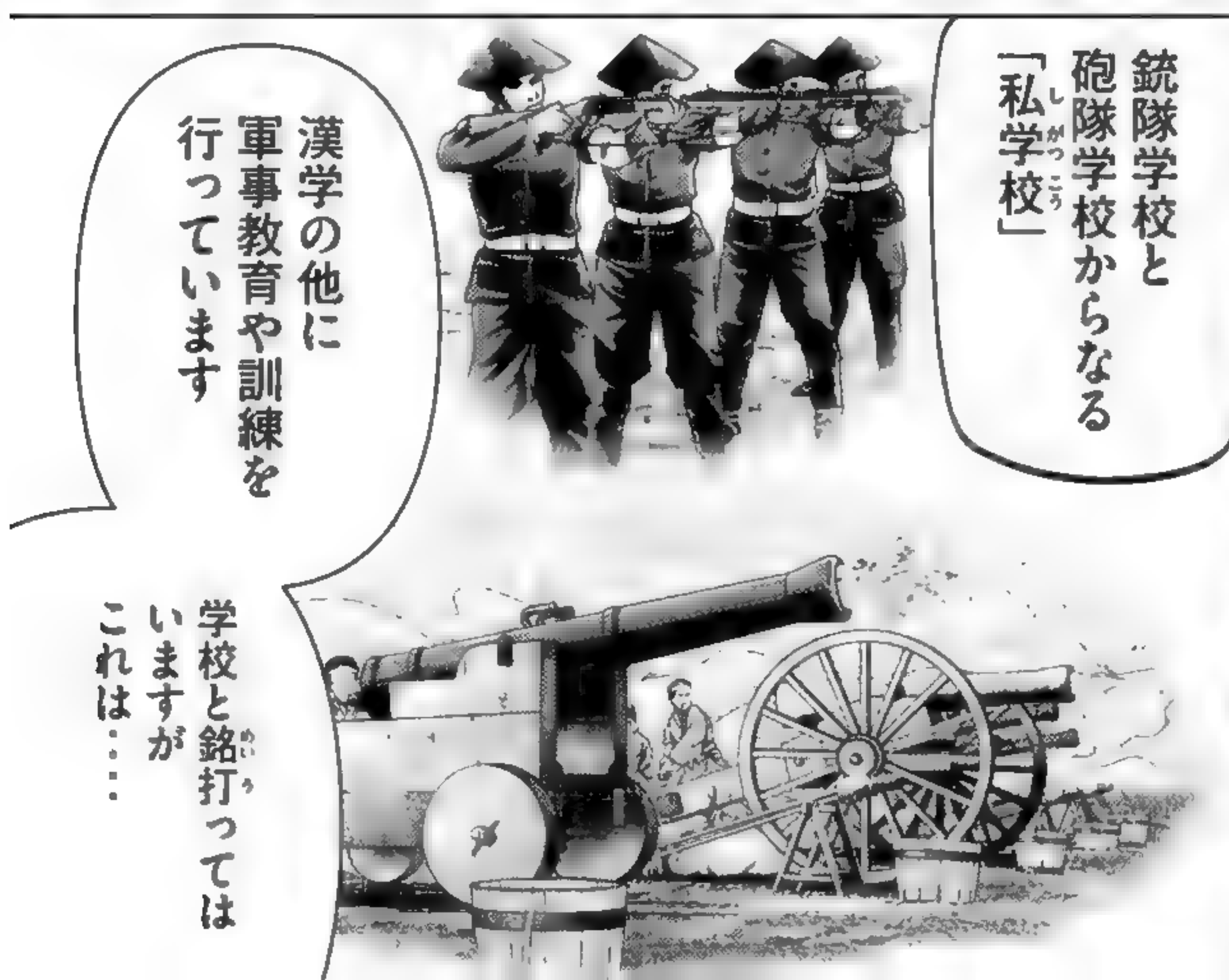
かつての盟友……
岩倉使節団外遊時は
留守政府を彼に託した


西郷隆盛
士族たちを統べる薩摩の英雄です


ええ・・・・
その名は知っています


だが・・・・政治思想の違いから最後は都を去り
鹿児島に「学校」を作りました


学校・・・・?


銃隊学校と砲隊学校からなる「私学校」
漢学の他に軍事教育や訓練を行っています
学校と銘打ってはいますがこれは・・・・

軍隊です

政府に不満を持つ行き場のない士族が続々と西郷のもとに集まっている

西郷率いる……

ドクン

軍隊……!?

いつ戦争が始まってもおかしくない……ここにいるのは危険です

東京に……戻ってくれませんか


え・・・・？


幸乃助くんは
愛州家の・・・・ひいては
日本の未来を担う
重要人物です
こんな所で
死んでもらうわけ
にはいきません




感謝します・・・・
でも・・・・
僕の居場所は
陸軍です


・・幸乃助くん!!
なぜこんな事を!?
ご家族も
悲しみますよ!!


大久保さん

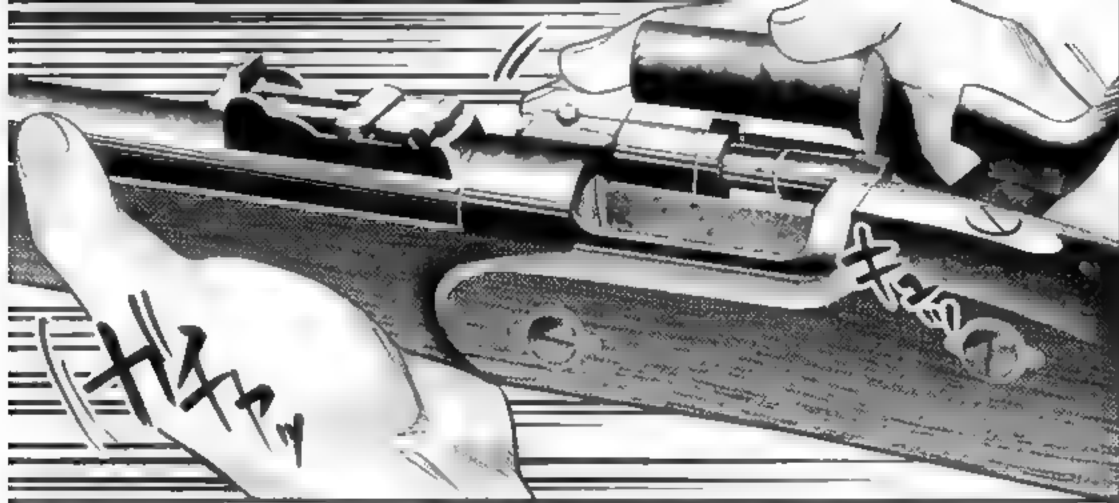
もう・・・死んだのです

華族愛州幸乃助は





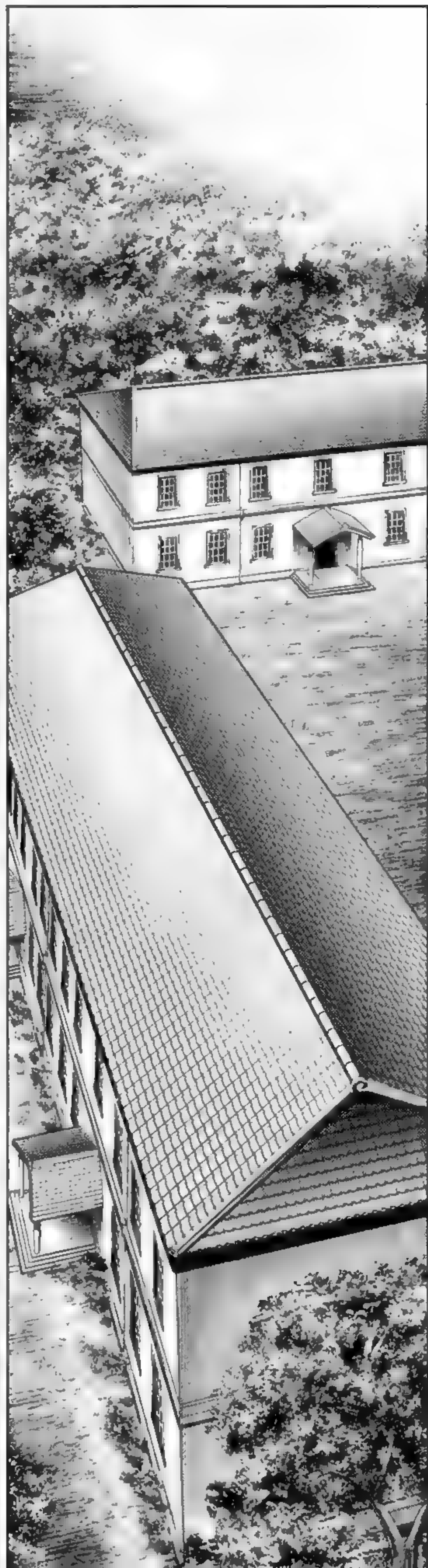



キュッ
ガチャッ


小銃分解整備完了しました
むっ!!また青山が一番か!!
ジャキ


貴様らも見習え!!たるんでる!!
ビッ
いてっ!!
いでえ!!


くっそ……青山の野郎ムカつくぜ
何やっても優秀だからなあいつは




ドンッ
ドンッ

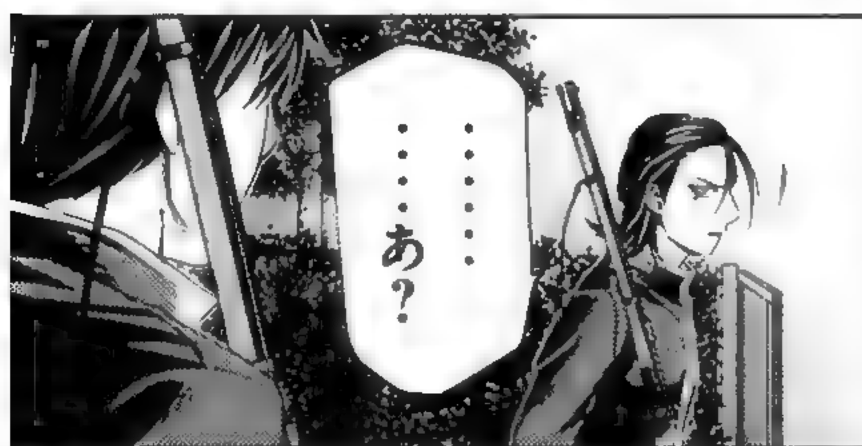

すごいよ・・・・






射撃も・・・・上手いんだね
青山くん!!


あっ……
まっ……待ってくれ!!

僕を……
鍛えてくれないか!?

……あ?

青山くんの体術や射撃術は熊本鎮台随一だ
訓練の後……君に教わりたい

もう時間がない……!!
戦いが始まる前に強く……なりたいんだ!!



!!


知るか
言ったろ？俺はお前が嫌いなんだよ


チャキ…
この場で頭に風穴開けてやろうか？
……っ……!!


くらぁ!!
何をやっとるか!!
さっさと片づけんか!!

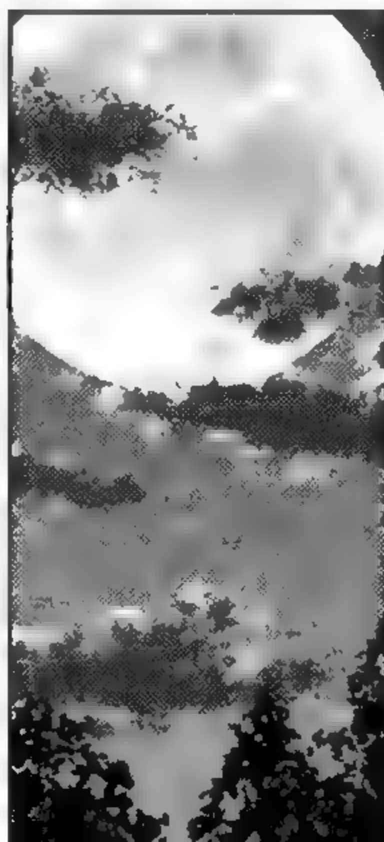





ったく今日も竹刀野郎に五発も殴られたわ!!
俺なんか八発じゃ!!


青山の長髪野郎は気に入られとっていいのう
だがありゃ変人じゃ知っとるか?
青山はいつも夜中になるとどこかへ消えるんじゃ


人殺しでもしに行くんかって形相でよ
ひいい!! そりゃおっかねぇ








ユラァ!


……!!
青山くん……!!

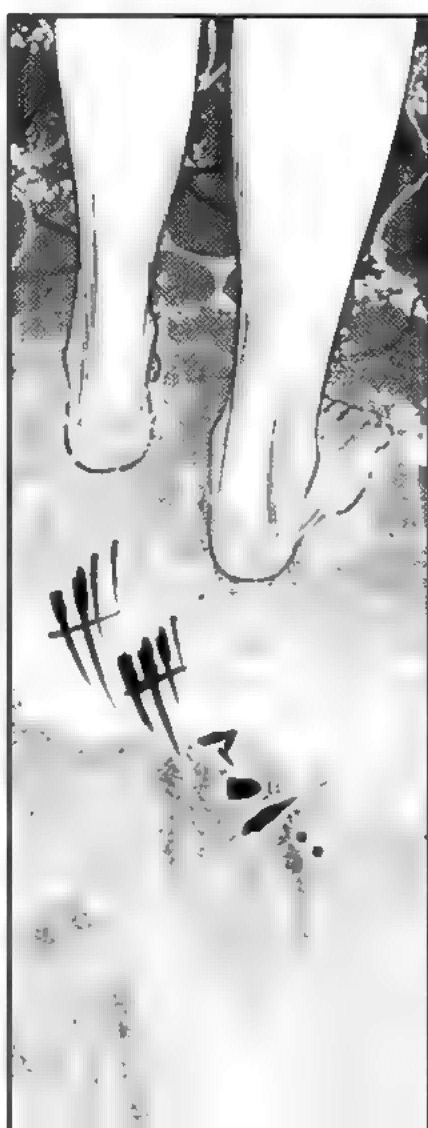

ギシ
ギシ


本当だったのか……!!
スッ
一体……どこへ!?



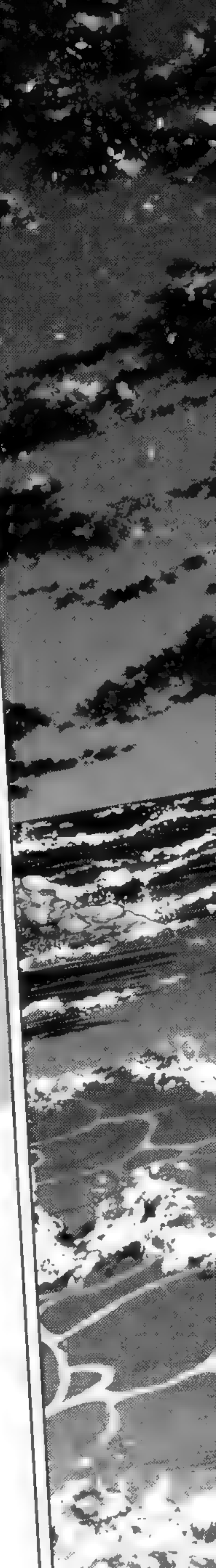


こんな夜中に森に
来るなんで・・・・
やはりそうだ!!
ドクン
夜な夜な一人で
鍛錬をして
いるんだ・・・!!

青山くんの強さの
秘密はこれだったのか!!
僕にも・・・稽古を
つけてもらおう!!

ザザ

青山くん!!
頼む!!
僕も・・・・
バッ

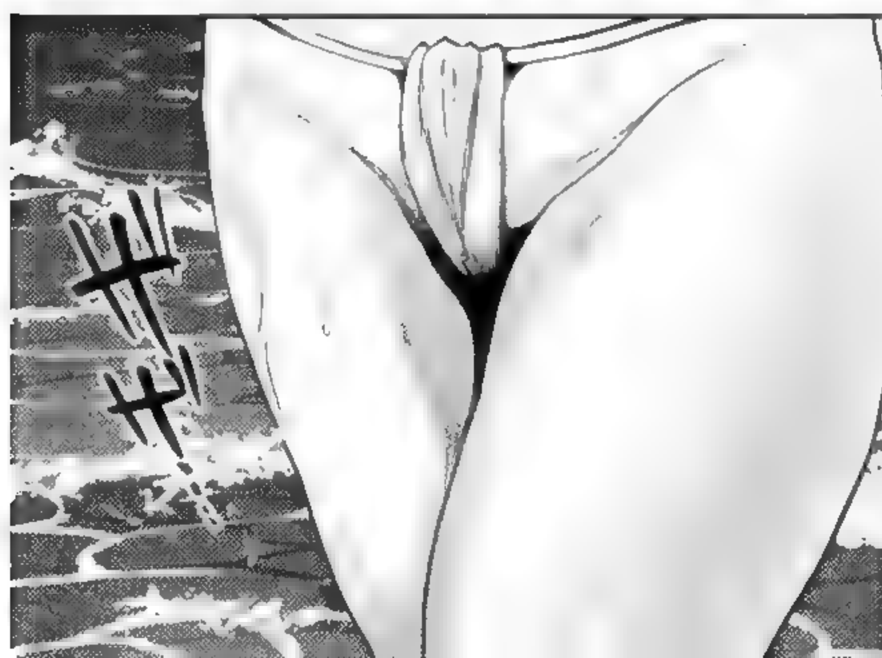







え……!?


ザザ…





女性・・・・

だったのか
・・・・・!?

第三十三話 終

青山くん・・・・!!
まさか君が・・・・

女性だったなんて・・・・!!

第三十四話
青山一










ガッ


ぐっ・・・!!


殺す前にな!!


あっ・・・青・・・山くん・・・何を・・・・・
何を?聞かなくてもわかるだろ
女だって事がバレたら俺はもう軍にいられない

お前に
死んでもらう
しかないんだよ
愛州幸乃助

ここまで隠し通して
きたのによ‥‥

お前に俺の
気持ちが
わかるか!?

……!?

軍以外に
生きられる所
なんて
ねえんだ

俺は‥‥

どこにも
行けねえんだよ!!


俺は糞みたいな
両親のもとに生まれた
親父はろくに働きもせず
酒浸り・・・・
おふくろは愛想を尽かし
俺を置いて他所の男と出ていった


毎日 腹が減ってた
白米なんて食った事なかった
畑からかっぱらった
野菜や粟で飢えをしのいだ


ヨロ・・・
ビチャ
それだけじゃねえ――
なんだ・・・・お前・・・・
フラ
フラ
こんな所にいたのか・・・・


いや・・・・!!
もう・・・・やめろ!!

てめえ親に向かってなんだその口のきき方は!!
ギシ
いやあああ!!
離せええ!!
股開くぐれえしか能のねえ糞餓鬼が!!
ギシ





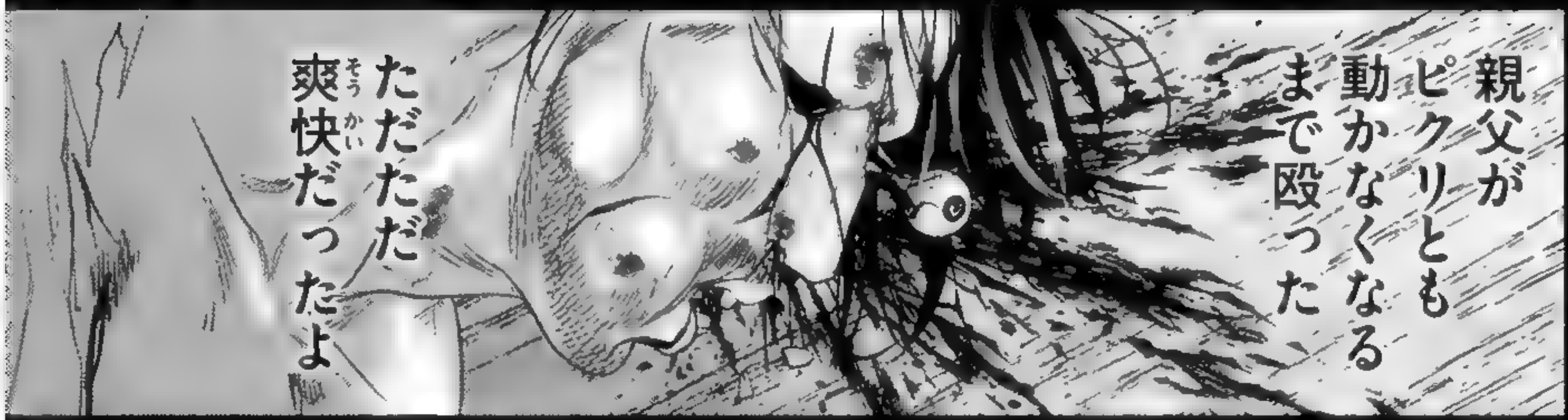



はっ
お？今日はやけに大人しいな
いつもこれぐらい素直なら乱暴はしねえんだよ
はっ




ふぐっ!!




親父がピクリとも動かなくなるまで殴った
ただただただ爽快だったよ




でも家を飛び出した俺を待っていたのは
さらなる絶望だった


あ?
なんだ お前


仕事が欲しい？
馬鹿言うな‼
カシャカシャ…
女なんか
雇うわけあるか‼
役に立たん
コーン コーン
どうしても
稼ぎてえなら
……

女郎になって
股開くんだな‼
買ってやるよ
ははは…
なかなか そそる
体してるからな
ひひ

ふざけるな
このクズども‼
ガシャ
うわっ‼
何しやがる
このアマ‼

女の居場所なんて
どこにもなかった
この世の全てが
憎かった

ついに俺にも徴兵検査が来ちまったよ……

はは

心配するな!! なんでも検査に合格した後さらに「くじ引き」で入隊を決めるらしいぞ

はっは

そうそう当たりっこねえよ

……

軍隊か……

飯がたらふく食えるらしいな……

男だったらいいのに……

男に……なりてえ……

げはぁ!!

じょ

おえっ

!

汚えっ!! てめえ何しやがんだ!!

ドカッ

す…すまん…ごはっ……許してくれ!!

「徴兵くじ」に当たって兵役に つかなきゃいけないんだ‥‥

健康なあまり検査にあっさり通ってしまい‥‥

醤油を飲めば体を壊して免除されるって聞いたから‥‥

くそ‥‥腹立つぜ‥‥

こっちは頼んででも入隊してえってのに‥‥

‥‥入隊しなくて済むようにしてやろうか？

え⁉

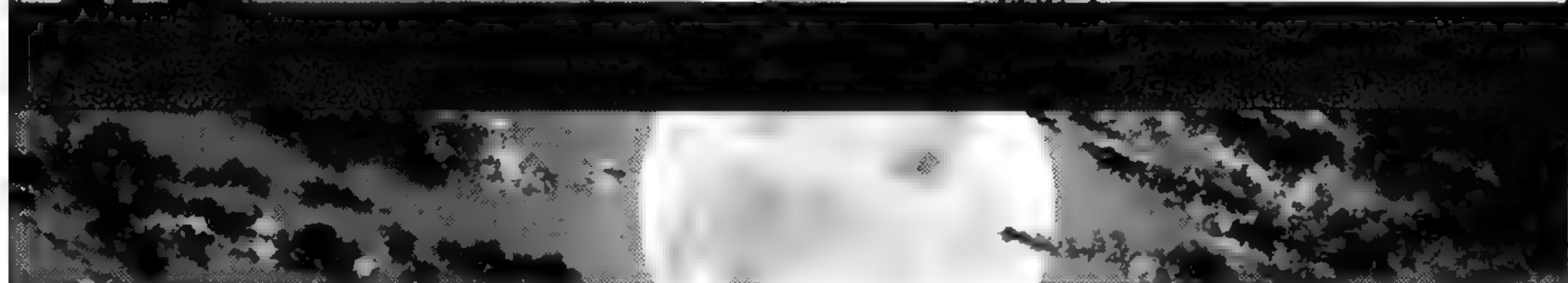
ど‥‥どうやって⁉

お前‥‥名前は？

青山一だけど‥‥‥

よし……今日から俺が……

青山一になる






…っ…!!




……この野郎……
ぶっ殺してやる!!
待て!!

黙っている!!

君が女だという事は誰にも漏らさない!!

信用できるかそんなの・・

その代わり……

ーっ

条件がある



やっぱりな…こいつも他の男と変わらない

…クズだ

黙ってる代わりに躰を弄ばせろとでも持ちかけるつもりだろ?

やはりここで殺す

パッ

頼む!!

僕にっ・・・・

稽古をつけてくれ!!







なんだ こいつ…馬鹿なのか？
どんな事でもさせられるぐらいの弱みを握ったんだぞ？
稽古をつけろだと？








鹿児島
西郷設立 私学校


ガン


ギリ
ぬうう……!!
ギリ


カカッ
ガッ


うがっ!!





むうっ・・・・!!
これが首斬り家
洞門沙夜か・・・・!!
ザワ
ザワ・・・
八人連続
倒したぞ・・・・!!



もう一度!!
頼みます!!
いいや次は
俺だ!!



ふ・・・



洞門沙夜



桐野先生!!
先生!!

その腕前・・・西郷先生が見こんだだけの事はある
頼む
スラ…

この人斬り半次郎と立ち合ってくれ!!
真剣で!!
ボオ…
第三十四話 終

幕末の殺人剣集団
「新撰組」

実戦型剣術に特化し
いかなる手段でも使い相手を殺す
恐怖の存在であった

第三十五話 死神 VS. 人斬り

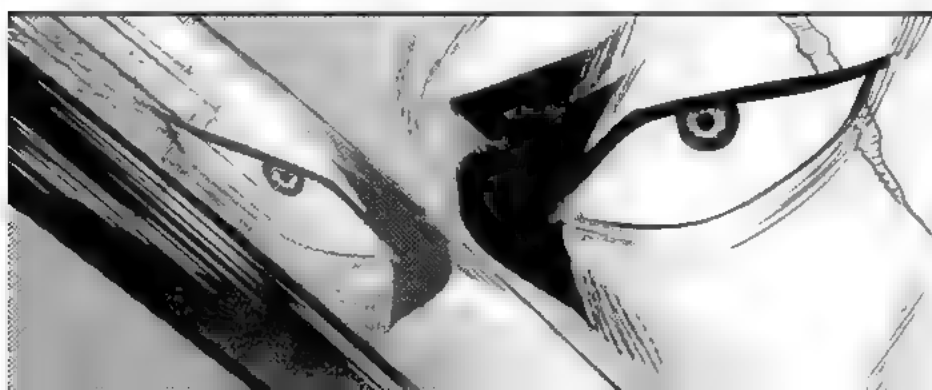
その局長
近藤勇は
かつて――

「薩摩の初太刀は避けよ」

と隊士に
警告した
という







「示現流」

一撃必殺の究極剣術である――!!



剣の道に生きる以上交わる事は宿命!!

さあ洞門よ・・・・俺と立ち合え!!

「人斬り半次郎」桐野先生が洞門沙夜と・・!?

どっ・・・・どっちが勝つんだ!?

そりゃ桐野先生じゃ!! 斬る言うたら絶対に斬るお人じゃ

しかし相手はあの「首斬り家」・・・・殺しが本職だ!!

「死神 vs. 人斬り」!! こりゃあとんでもない戦いだぞ!!

キン・・・

・・・・いいだろう

来い

キン














受けたら終わりだ!!
剣ごと叩っ斬られる!!

無駄だ!!
どこへ逃げようが

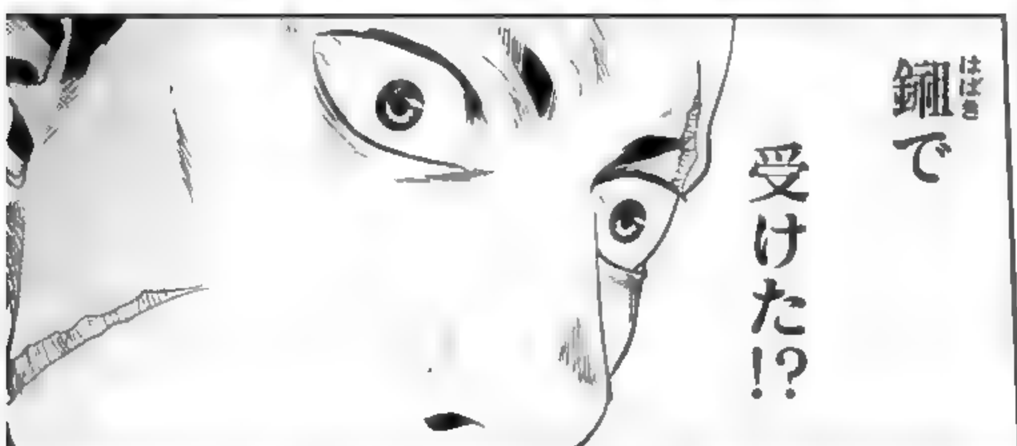
この剣は必ず
獲物を斬り殺す!!

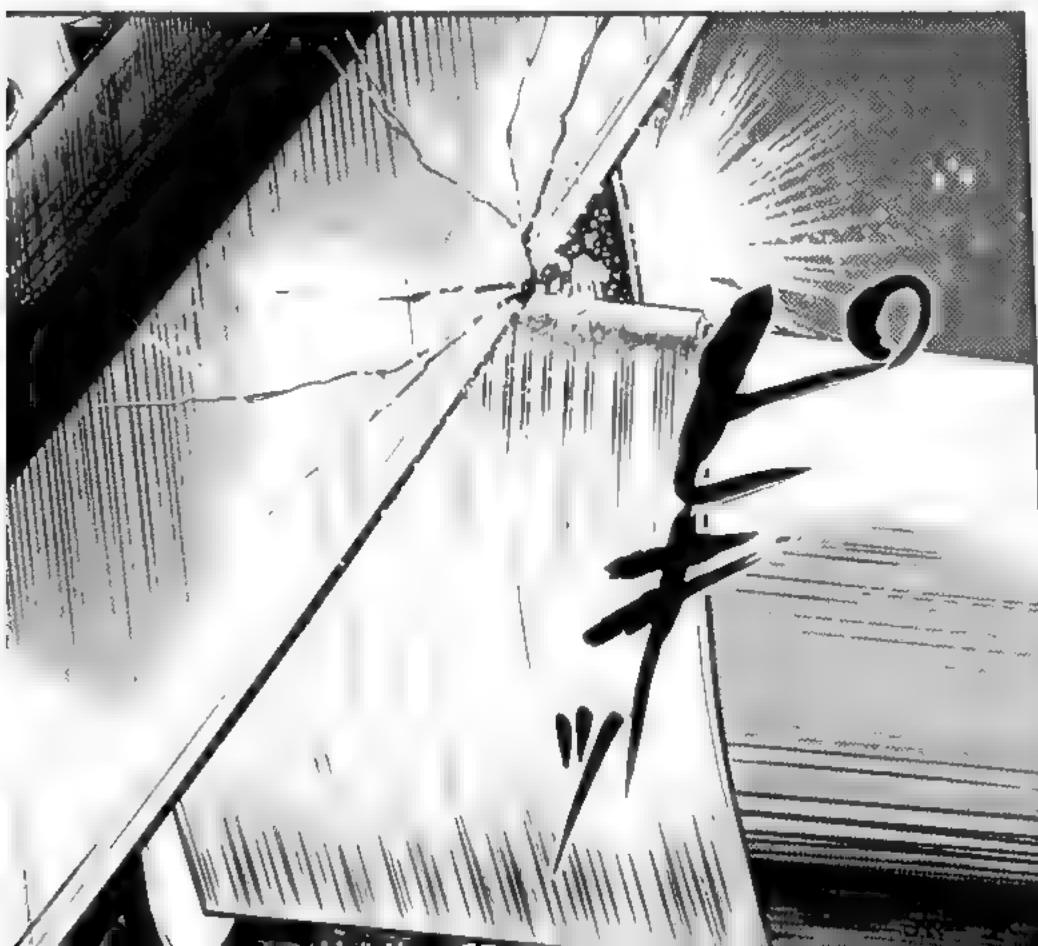
避けろ
洞門!!

!?






鎺(はばき)で受けた!?


ピキッ

パキン









銅製の鎺は刀の部位で最も硬い部分

洞門家は刀剣鑑定家でもある事を忘れるな



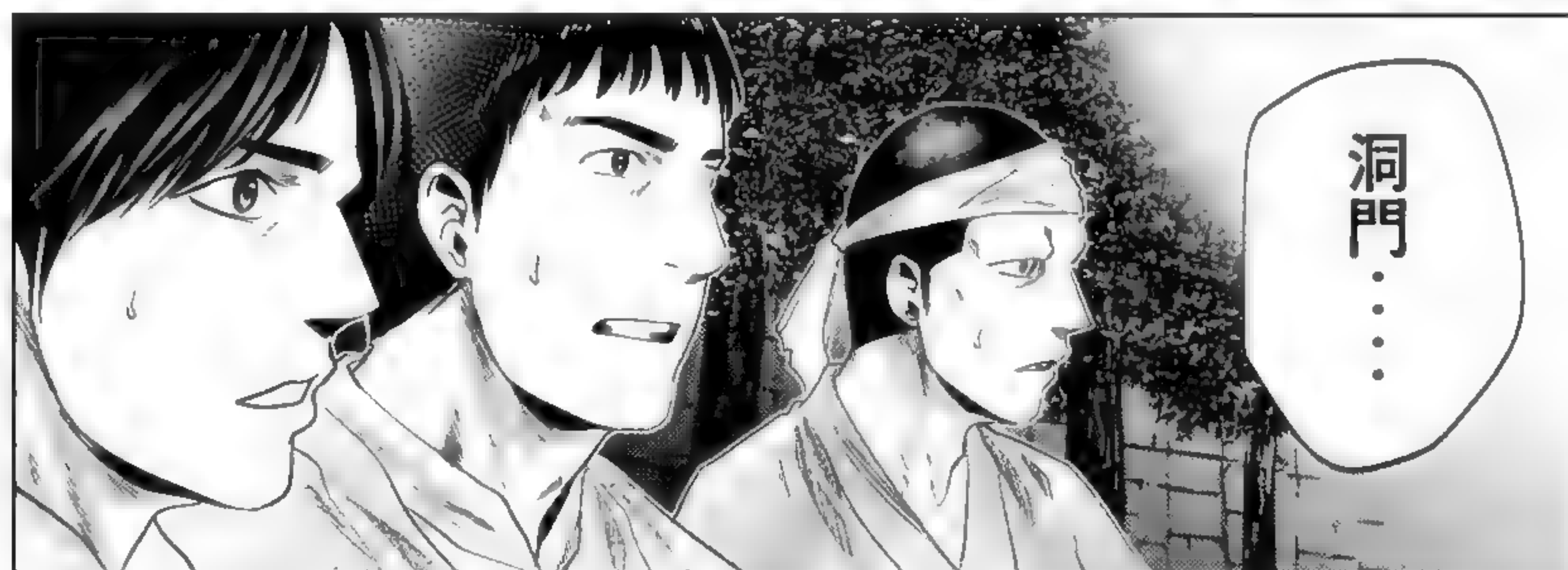






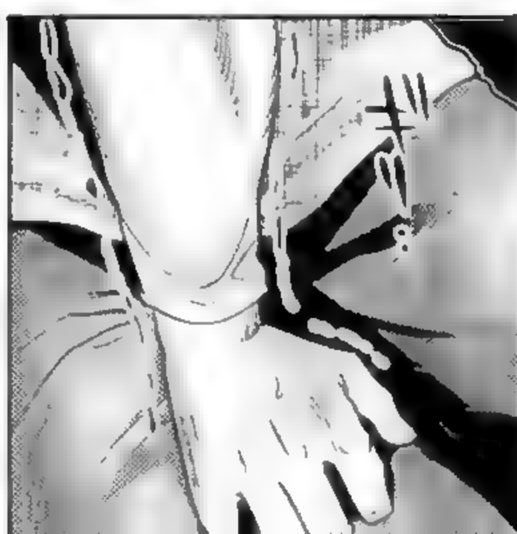
自惚れるな
首斬り家の刀は安くないぞ
……何……!?
この刀は生きたくとも叶わぬ者や死の淵まで足掻く者を斬る刀だ
一時の恥辱に大義を忘れる者など相手にせん……


……っ……!!


洞門……


貴様が何を成す気かは知らんが
息絶える寸前まで励む事だな
チン


その時が来れば……
私がお前を介錯してやろう


ギリ…

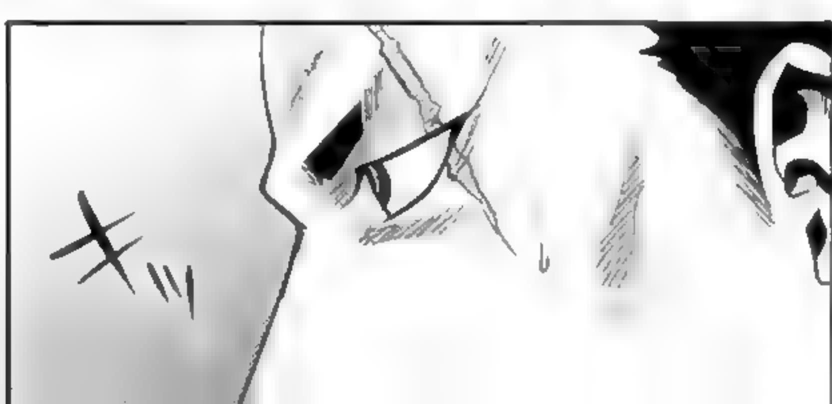

…なんという…
屈辱!!

なんという……

喜び……!!








西郷先生感謝しますぞ・・・・・・
こんな気高き女に出会わせてくれた事を・・・!!


じーー・・・
沙夜・・・・名前までもが美しい・・・・


桐野よ洞門に惚れたか?
へっ・・・・さっ・・・・西郷先生!?
なっ・・・・ななななっ・・・・


何を言われる!!この桐野女人にうつつを抜かす事は・・・・
ガハハハ!!まあよいわよいわ


どうだ洞門この学校は
粗野な男どもばかりでむさくるしいが・・・・


皆 必死だ

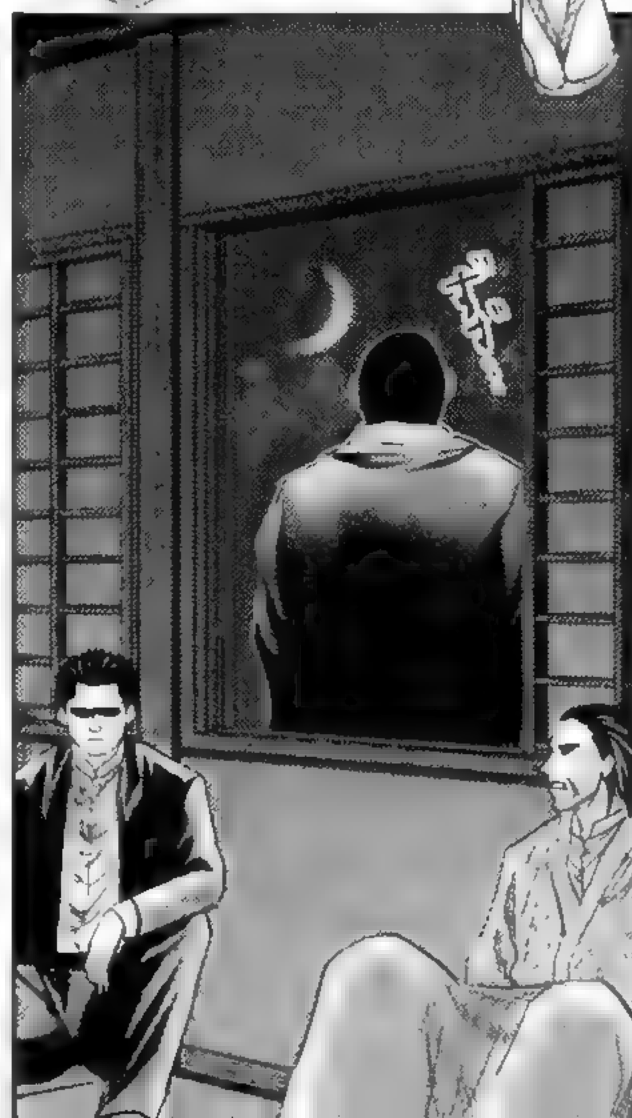
士族とは
近代化を口実に
国に捨てられ…
行き場のない
怒りを抱えこむ
者たちだ
洞門よ
お主は
この国の現状を
どう見る
「紛い物」だな
平等や近代化を
謳っているが全てが
空虚な偽物だ
ああ…幕府を倒して
良くなるどころか…
ますます
悪くなっとる

結局は また
上に立つ者だけが潤い
民だけが苦しみ
疲弊する

こんな国にするために
仲間たちは血を
流したのかと思うと

おいどんは
やりきれん







政府が陸軍弾薬庫の火薬を大阪に移そうとしてるって噂聞いたか?

戦争になるのを警戒しての事らしいぞ

何!?

おのれ政府めふざけた真似を!!

あの火薬は俺たちの禄米で作られたものだぞ!!

※藩士が納める年貢。明治九年まで続いていた。

おい!

ああ!!

政府なんぞにくれてやるか!!

奪われる前に取り返しに行っちゃろう!!

第三十五話 終

明治十年一月二十九日

陸軍弾薬庫





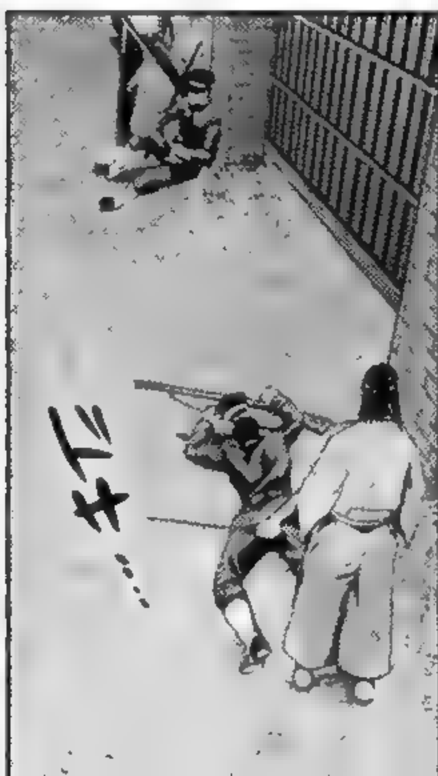







!!
ア
村田(むらた)!!?


がぐっ!!
ドス


ジャ…


ジャリ…

この弾薬は
我ら薩摩藩士の
ものだ!!
政府なんぞに
渡すか!!
取り返すぞ!!
オオオ





八万発を超える
弾薬と小銃を
回収する事に成功

戦争に向け
武力を大きく
充実させた

……
…ど……

洞門(どうもん)!!




桐野(きりの)か……
ササァァァ
なんの用だ


ここで……何をしている?
別に……ただ川を見ているだけだ
そうか……




……
なんの用だ?




白の水仙の
花言葉は「神秘」
洞門によく
合ってると思ってな
……採ってきた




……
……
……フッ


花言葉……？
薩摩の剣豪が？
う……うるさい!!
何かおかしいか!!


いや……
とても嬉しいよ
有難う


それとのう……洞門
一つ頼まれてくれんか？


なんだ？
中原尚雄という警視庁の少警部が同僚を連れて鹿児島に来とるんじゃ
表向きは帰郷と言っとるが こいつがどうも きな臭い

なんでも旧知の人間にな‥‥‥
自分は西郷を刺殺に来たと話してたらしい!!
ギリ…
……暗殺か……
政府め……どこまで腐っていやがる!!
西郷先生を殺せば全て抑えこめると思ってるんだ!!
ボチャン
この賊を野放しにできん!! 捕まえるのに協力して……
ドッ
断る
政府と戦いたいなら勝手にやればいいが
私は兵隊や殺し屋じゃない


どこにいようが
私は……
ただの
首斬り家だ


……
そうか……
……わかった


実は
この一件は
ただの勘違い
「視察」と「刺殺」を
聞き間違えた事から
起こったとも言われている


だが激昂した
桐野ら私学校生は
もはや止められず
ぎゃあああ!!

もう許してくれっ……!!
そっ……そうだ!!
白状するっ……! 私は西郷暗殺の命を受けてきた!!
中原尚雄ら警察官数名を捕縛し苛烈な拷問にかけた
その結果西郷暗殺計画を認めたという噂が流れる
ドンッ
もはやこれ以上政府の悪行を許しておれん!!
覚悟を決めろ!! 開戦の時だ!!

おお!!
そうだ!!
オオオオオ
刃をもって知らしめよう!!







皆の命

……預かろう




オオオオッ








グシャッ

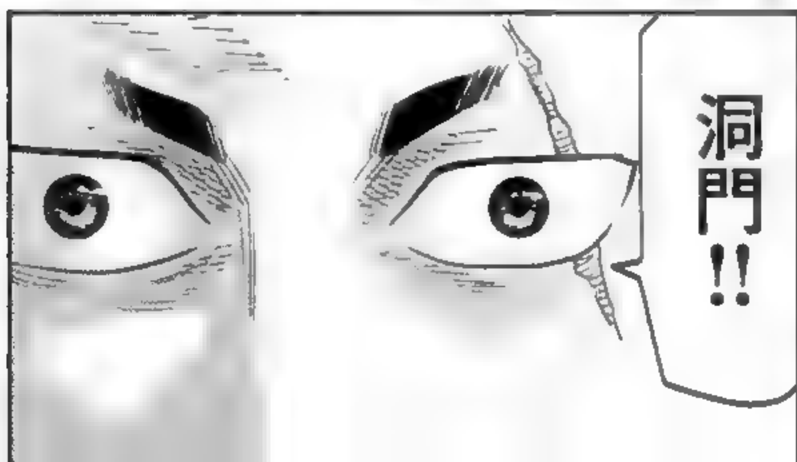



エンピール銃は
弾こめが遅い
気をつけろよ
なに いざと
なったら
抜刀戦じゃ
所詮 政府軍は
徴兵の寄せ集め
だからな
ザッ
ザッ
スッ


ザ


ザッ
ザッ


私も行こう
なっ……!!
ほ…
本当か…!?


洞門!!

父上が死んだ
無実の罪を着せられ……切腹に追いこまれてな

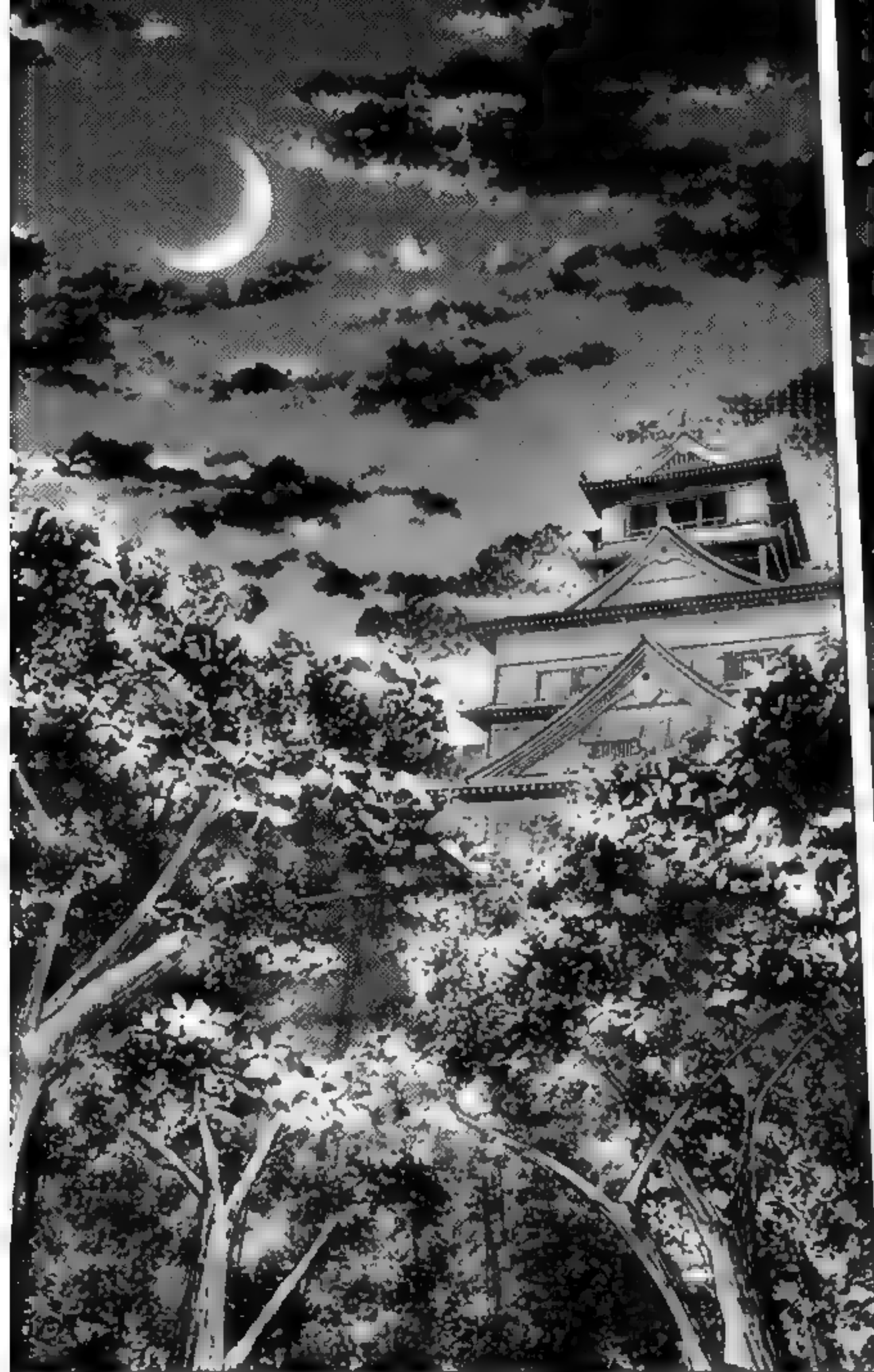
……!!
父上が路上で人を斬ったなど……ありえない話だ
何か口実を作って排除する気のようだ政府は……!!

首斬り家「洞門家」というこの国の闇を
何も無かったかのように……!!



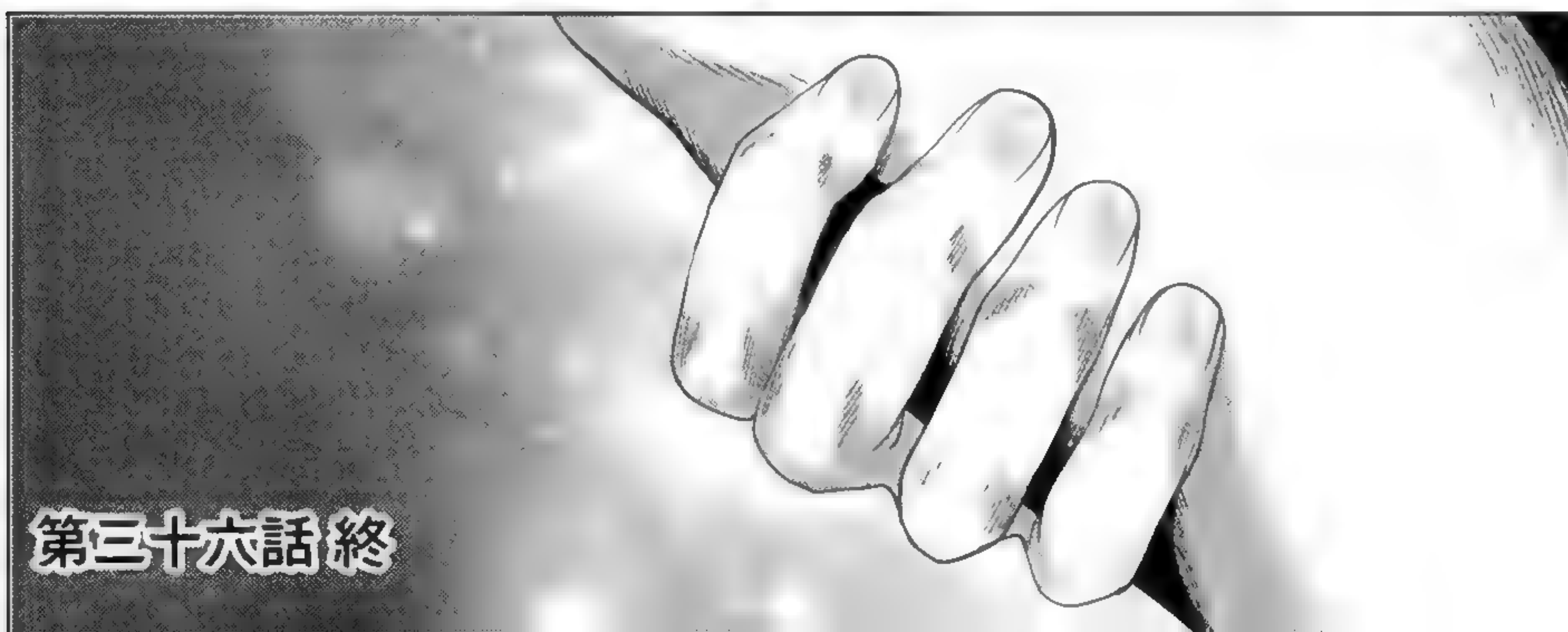

行くぞ・・・・!!

目指すは熊本城!!








第三十六話 終

第三十七話 数奇な運命








接吻くらいでなに慌ててるんだよ
お前女知らねーのか？
く…!!


なっ……!!
べ……別にそんな事はないが……


男の振りをしているとはいえ君は女性なわけだし……
こういう行為は……大切なものだろう？






ぐああっ・・・!!
ドォッ
ぐるっ
ガラ空きだよ
バーカ


男はダメだな
どうでもいい事に
気を取られて
ちょっと汗
流してくるわ


ぐ・・・・
気にしすぎたか・・・・?
僕の事を なんとも
思ってないんだろうな・・・


……んだよ
あいつ……
くそ……




カチャッ
カチャッ


ヒソ
ヒソ


ニヤ
ニヤ
……なんだ……?
皆が僕と青山くんを見ているような……


おい陰気野郎!!
ポン
いやー驚いたぜ!!まさか……


お前と
長髪野郎が・・・・
ニヤァ・・・
そういう関係
だったとはな
!!


ドクン
・・・え・・・?


昨日の夜こいつと
長髪野郎が
出ていったから
気になって
あと尾けたんだよ
・・・・!!
そしたら
こいつら
何してたと思う?


ピクッ


・・・・裸で
抱き
合って

接吻してたんだ!!
熱〜〜〜くな!!

はははは、

本当かよ!!
気持ち悪い!!

長髪と陰気で乳繰り合ってたんか!?

みっ……見られていたのか!?

でも青山くんが女だとは気づかれてない……!?

……!!

てめえら……

おいおい怒るなよ長髪野郎

くくく

いつからそんな関係だったんだ?

でもよぉ……

確かにこいつ
よく見たら女みてえな
顔してやがるな

髪も長ぇし……
本当に男か!?

……
は…?

当たり前だろ
俺は男だ!!

……
!!

こいつ風呂も
いっしょに
入らねえしなぁ!!

そういやそうだ
怪しいな……よし

お前ら
行くぞ!!

なっ・・・・!!
はっ放せ!!

ガバッ

うおっ
すげえ力だ
ちゃんと押さえろ!!

唐手の達人でも
数には
勝てんわ!!
大人しくしろ!!

ズボン脱がせて
モノが付いてるか
確認してやるよ

ガチャッ

ふざけんな!!
やめろ!!

男なら何も
恥ずかしがる
事ねえだろ?

バレたら
・・・・・・

軍にいられなく
なるっ・・・・!!

やめろぉ!!


ぐはぁっ!!


!!
アァン……


……やめろ


青山くんに触るな
僕が相手になるぞ
ギリ…


なんだと陰気野…
がっ!!
…!?


つ…強ぇ!!あいつあんなに強かったのか!?
まさか本当に…
なんでそんなに長髪野郎を守るんだ!!
聞け!!

僕は彼を愛してる

青山くんは男だ



シ…………ン
…………!!
何か問題でもあるのか……？
ギロ…
い……いや……
……
ちょ……ちょっとからかっただけさ……ハハハ……
ス…
そんな本気にすんなよ…
すごい迫力じゃ!! 殺されそうだ
ヒ、ヒソ
あいつらにちょっかい出すのはやめとこう




……幸乃助(ゆきのすけ)


青山くん
君も熊本城の警備に？
……ああ




……あのよ……
……さっきは……



・・・ありがとな
女だって
バレないよう
かばってくれて・・・・・



青山くん・・・・・・



君には
鍛錬して
もらってる
からね
当たり前
だよ
あいつら
ビビってたぜ
お前が あんな強く
言えるなんてな



そ・・・・
それでよ・・・・
あれは・・・・
どういう意味だ
？



あれ・・
・・？
だっ・・・・
だから・・・・
言ってたろ!?



愛して・・・・
ヒュンッ






ドガァン
ドォーン


敵襲——!!総員戦闘用意!!
ダッ
ダッ
ダッ
私学校の士族どもが攻めてきた!!
ダッ


きっ……来た!!
ついに……この時が……
ドドドッ
落ち着け!!状況は!!
谷干城司令長官!!


オオオオ
一万三千人を超える私学校党が熊本城を包囲しております!!

オオオ
対するこちらは
鎮台兵と警視隊を
合わせて
三千三百人!!







明治十年
二月二十二日

数奇な運命が
再び二人を巡り合わせた



※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、
一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、
コミックス発売当時のまま掲載しています。

首を斬らねば分かるまい（4）

2020年11月1日発行（01）

原作　門馬司
著　奏ヨシキ

発行者　森田浩章

発行所　株式会社　講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽2-12-21